

2021（令和3）年度  
事業報告書

学校法人常磐大学

# 目 次

1 法人の概要	1
(1) 建学の精神	1
(2) 学校法人の沿革	1
(3) 設置する学校, 学部, 学科等	3
(4) 学校, 学部, 学科等の状況	3
① 在籍者状況 (2021年5月1日現在)	3
② 入試状況 (2022年5月1日現在)	4
③ 進路状況 (2022年3月31日現在)	5
(5) 役員の概要 (2021・2022年5月1日現在)	8
(6) 評議員の概要 (2021・2022年5月1日現在)	9
(7) 職員の概要	10
① 教育職員数 (2021年5月1日現在)	10
② 事務職員数 (2021年5月1日現在)	10
2 事業の概要	10
(1) 2021年度事業報告	10
学校法人常磐大学	10
常磐大学	13
常磐短期大学	20
常磐大学高等学校	24
智学館中等教育学校	26
常磐大学幼稚園	29
(2) 2021年度主要行事	30
3 財務の概要	31
(1) 事業活動収支計算書関係比率	31
(2) 貸借対照表関係比率	32
(3) 経営上の成果と課題	33
4 施設設備整備の概要	33
(1) 施設設備整備事業実施の位置図	33

# 1 法人の概要

## (1) 建学の精神

「実学を重んじ、真摯な態度を身につけた人間を育てる」

ビジョン (2019-2023)

- 1 教育・研究活動の充実〔教育, 研究, 入試改革〕
- 2 社会貢献の実践〔地域連携, 国際交流, 進路支援〕
- 3 安定した運営基盤の確立〔人材, 財務, 施設設備, 管理運営, 広報〕

常磐大学・常磐短期大学 【教育の理念】

「自立」「創造」「真摯」

常磐大学高等学校 【校訓】

「頼れる自分になる 正しい自分になる 豊かな自分になる」

智学館中等教育学校【教育の基本理念】

「人間の尊厳を大切にし、世界的視野で考え行動できる人になる」

常磐大学幼稚園 【教育目標】

「健康で、明るい子」「よく考え、工夫する子」「みんなと仲よく遊べる子」

「自分から進んで活動にうちこめる子」

## (2) 学校法人の沿革 (2022年4月1日現在)

1909 (明治42) 年	11月	小田木 (諸澤) みよ	水戸市馬口労町に裁縫教授所を開設
1922 (大正11) 年	4月		水戸常磐女学校を開校
1935 (昭和10) 年	4月		常磐高等女学校を開校
1948 (昭和23) 年	4月		学制改革により総合制の常磐女子高等学校を開校 (普通科, 被服科, 商業科, 別科)
1951 (昭和26) 年	3月		私立学校法により学校法人常磐学園設置認可
1966 (昭和41) 年	1月		常磐学園短期大学設置認可
	4月		常磐学園短期大学を開学 (家政科家政専攻, 家政科食物栄養専攻)
1968 (昭和43) 年	4月		常磐学園短期大学幼児教育科を設置
1969 (昭和44) 年	12月		常磐学園短期大学附属幼稚園設置認可
1970 (昭和45) 年	4月		常磐学園短期大学附属幼稚園を開園
1975 (昭和50) 年	4月		常磐学園短期大学教養科を設置
1983 (昭和58) 年	1月		常磐大学設置認可
	4月		常磐大学を開学 (人間科学部人間関係学科, 人間科学部コミュニケーション学科)
1987 (昭和62) 年	4月		常磐学園短期大学の学科名称変更 (教養科を教養学科, 幼児教育科を幼児教育学科, 家政科家政専攻を生活科学科生活科学専攻, 家政科食物栄養専攻を生活科学科食物栄養専攻)
1988 (昭和63) 年	4月		常磐大学人間科学部組織管理学科を設置
1989 (平成元) 年	4月		常磐大学大学院人間科学研究科人間科学専攻修士課程を設置
1990 (平成2) 年	4月		常磐学園短期大学を常磐大学短期大学部に名称変更し, 男女共学化 常磐大学短期大学部経営情報学科を設置 常磐学園短期大学附属幼稚園を常磐大学短期大学部附属幼稚園に名称変更
1993 (平成5) 年	4月		常磐大学大学院人間科学研究科人間科学専攻博士課程 (後期) を設置
1996 (平成8) 年	4月		常磐大学国際学部を設置 (国際協力学科, 国際ビジネス学科)
1999 (平成11) 年	4月		常磐大学短期大学部を常磐短期大学に名称変更 常磐大学短期大学部附属幼稚園を常磐短期大学附属幼稚園に名称変更
2000 (平成12) 年	4月		常磐大学コミュニティ振興学部を設置 (コミュニティ文化学科, ヒューマンサービス学科) 常磐女子高等学校を常磐大学高等学校に名称変更し, 男女共学化
2002 (平成14) 年	4月		常磐短期大学の幼児教育学科を幼児教育保育学科に名称変更
2003 (平成15) 年	4月		常磐短期大学教養学科, 経営情報学科を募集停止

2004（平成16）年	4月	常磐短期大学キャリア教養学科を設置 常磐大学大学院コミュニティ振興学研究科コミュニティ振興学専攻修士課程を設置 常磐大学人間科学部人間関係学科，組織管理学科および国際学部国際協力学科，国際ビジネス学科を募集停止 常磐大学人間科学部心理教育学科，現代社会学科および国際学部国際関係学科（国際協力学専攻，国際ビジネス学専攻），英米語学科を設置
2005（平成17）年	12月	常磐短期大学経営情報学科を廃止
	1月	学校法人常磐学園を学校法人常磐大学に名称変更
	4月	常磐大学大学院被害者学研究科被害者学専攻修士課程を設置 常磐短期大学附属幼稚園を常磐大学幼稚園に名称変更
2006（平成18）年	3月	常磐短期大学教養学科を廃止
	4月	常磐大学コミュニティ振興学部地域政策学科を設置
2007（平成19）年	11月	智学館中等教育学校設置認可
2008（平成20）年	4月	常磐大学人間科学部心理教育学科および国際学部国際関係学科（国際協力学専攻，国際ビジネス学専攻）を募集停止， 常磐大学人間科学部心理学科，教育学科，健康栄養学科および国際学部経営学科を設置 常磐短期大学生生活科学科食物栄養専攻，生活科学科生活科学専攻を募集停止
	4月	智学館中等教育学校を開校
2009（平成21）年	3月	常磐短期大学生生活科学科を廃止 常磐大学国際学部国際ビジネス学科を廃止
	12月	常磐大学人間科学部人間関係学科を廃止
2010（平成22）年	3月	常磐大学人間科学部組織管理学科および国際学部国際協力学科を廃止
2013（平成25）年	3月	常磐大学人間科学部心理教育学科を廃止
	4月	常磐大学大学院被害者学研究科被害者学専攻博士課程（後期）を設置
2014（平成26）年	3月	常磐大学国際学部国際関係学科を廃止
2015（平成27）年	4月	常磐大学幼稚園が認定こども園（幼稚園型）に認定
2016（平成28）年	4月	常磐大学大学院被害者学研究科被害者学専攻博士課程（後期），修士課程，およびコミュニティ振興学研究科コミュニティ振興学専攻修士課程を募集停止
2017（平成29）年	4月	常磐大学国際学部を募集停止（経営学科，英米語学科） 常磐大学コミュニティ振興学部を募集停止（コミュニティ文化学科，地域政策学科，ヒューマンサービス学科） 常磐大学総合政策学部を設置（経営学科，法律行政学科，総合政策学科）
2018（平成30）年	3月	常磐大学大学院被害者学研究科被害者学専攻博士課程（後期），修士課程，およびコミュニティ振興学研究科コミュニティ振興学専攻修士課程を廃止
	4月	常磐大学看護学部を設置（看護学科）
2020（令和2）年	5月	常磐大学国際学部英米語学科を廃止
2021（令和3）年	5月	常磐大学コミュニティ振興学部地域政策学科を廃止
	9月	常磐大学コミュニティ振興学部を廃止（コミュニティ文化学科，ヒューマンサービス学科）
2022（令和4）年	3月	常磐大学国際学部を廃止（経営学科）
	4月	常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程を設置

(3) 設置する学校、学部、学科等 (2022年3月31日現在)

	研究科・学部	学科・専攻		設置認可日等	所在地等
常磐大学 大学院	人間科学研究科	人間科学専攻	博士課程 (後期)	1993年3月19日	茨城県水戸市見和1丁目430番地の1 TEL:029-232-2511 FAX:029-231-6078 https://www.tokiwa.ac.jp/
			修士課程	1989年3月17日	
常磐大学	人間科学部	心理学科	2008年4月1日		
		教育学科	2008年4月1日		
		現代社会学科	2004年4月1日		
		コミュニケーション学科	1983年1月17日		
		健康栄養学科	2007年12月3日		
常磐大学	国際学部	経営学科	2004年4月1日		
		経営学科	2017年4月1日		
	総合政策学部	法律行政学科	2017年4月1日		
		総合政策学科	2017年4月1日		
看護学部	看護学科	2018年4月1日			
常磐短期大学	キャリア教養学科		2002年7月30日	茨城県水戸市見和1丁目430番地の1 TEL:029-232-2511 FAX:029-231-6078 https://www.tokiwa.ac.jp/	
	幼児教育保育学科		1968年2月3日		
常磐大学高等学校			1922年4月1日	茨城県水戸市新荘3丁目2番28号 TEL:029-224-1707 FAX:029-224-6579 https://www.tokiwa.ac.jp/~tokikou/	
智学館中等教育学校			2007年11月1日	茨城県水戸市小吹町2092 TEL:029-212-3311 FAX:029-212-3300 https://www.tokiwa.ac.jp/~chigakukan/	
常磐大学幼稚園			1969年12月24日	茨城県水戸市見和1丁目425番地 TEL:029-232-2680 FAX:029-232-2824 https://www.tokiwa.ac.jp/~youchien/	

(4) 学校、学部、学科等の状況

① 在籍者状況 (2021年5月1日現在) \* ( ) 内の数字は、女性の人数を内数で示す。

常磐大学大学院

研究科	専攻・課程		収容定員	在籍者数		定員充足率
人間科学研究科	人間科学専攻	博士課程 (後期)	6	1	(0)	16.6%
		修士課程	20	18	(9)	90.0%
合 計			26	19	(9)	73.0%

常磐大学

学 部	学科・専攻	収容定員	在籍者数		定員充足率
人間科学部	心理学科	360	373	(219)	103.6%
	教育学科	272	304	(164)	111.7%
	現代社会学科	360	440	(159)	122.2%
	コミュニケーション学科	280	250	(149)	89.2%
	健康栄養学科	320	327	(275)	102.1%
	小 計	1,592	1,694	(966)	106.4%
総合政策学部	経営学科	340	414	(146)	121.7%
	法律行政学科	300	277	(69)	92.3%
	総合政策学科	340	330	(104)	97.0%
	小 計	980	1,021	(319)	104.1%
看護学部	看護学科	320	349	(313)	109.0%
	小 計	320	349	(313)	109.0%
国際学部	経営学科	—	2	(0)	—
	小 計	—	2	(0)	—
コミュニティ振興学部	コミュニティ文化学科	—	1	(1)	—
	ヒューマンサービス学科	—	1	(0)	—
	小 計	—	2	(1)	—
合 計		2,892	3,068	(1599)	106.0%

常磐短期大学

学 科	収容定員	在籍者数	定員充足率

キャリア教養学科	200	126	(125)	63.0%
幼児教育保育学科	280	251	(243)	89.6%
合 計	480	377	(368)	78.5%

常磐大学高等学校

収容定員	在籍者数	定員充足率
1,320	1,143 (735)	86.5%

智学館中等教育学校

収容定員	在籍者数	定員充足率
720	131 (71)	18.1%

常磐大学幼稚園

収容定員	在籍者数	定員充足率
175	167 (89)	95.4%

過去5年間の在学者数（収容定員充足率）推移

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
大学院	17(54.8%)	15(57.6%)	15(57.6%)	18(69.2%)	19(73.0%)
大学	2,319(81.9%)	2,472(86.6%)	2,693(95.0%)	2,892(102.8%)	3,068(106.0%)
短期大学	455(94.8%)	420(87.5%)	415(86.4%)	415(86.4%)	377(78.5%)
高等学校	1,212(91.8%)	1,198(90.7%)	1,129(85.5%)	1,109(84.0%)	1,143(86.5%)
中等教育学校	148(20.5%)	155(21.5%)	141(19.5%)	138(19.1%)	131(18.1%)
幼稚園	181(103.4%)	172(98.2%)	174(99.4%)	172(98.2%)	167(95.4%)
合計	4,332(77.9%)	4,432(79.5%)	4,567(82.2%)	4,744(85.7%)	4,905(87.3%)

② 入試状況（2022年5月1日現在）＊（ ）内の数字は、女性の人数を内数で示す。

常磐大学大学院

<2022年度>

研究科	専攻・課程		入学定員	志願者数	入学者数	定員充足率	<2021年度>	
							志願者数	入学者数
人間科学研究科	人間科学専攻	博士課程（後期）	2	1	0 (0)	0.0%	0	0 (0)
		修士課程	10	11	7 (5)	70.0%	11	6 (3)
看護学研究科	看護学専攻	修士課程	6	7	6 (5)	100%	—	—
合 計			18	19	13 (10)	72.2%	11	6 (3)

常磐大学

<2022年度>

学 部	学科・専攻	入学定員	志願者数	入学者数	定員充足率	<2021年度>	
						志願者数	入学者数
人間科学部	心理学科	90	313	106 (61)	117.7%	256	92 (59)
	教育学科 初等教育コース 中等教育コース	50	149	47 (40)	94.0%	163	61 (31)
		16	80	23 (6)	143.7%	102	27 (9)
	現代社会学科	90	213	103 (42)	114.4%	221	102 (43)
	コミュニケーション学科	70	156	59 (32)	84.2%	176	67 (34)
	健康栄養学科	80	151	85 (78)	106.2%	153	79 (69)
	小 計	396	1062	423 (259)	106.8%	1,071	428 (245)
3年次編入学	教育学科 初等教育コース 中等教育コース	2	1	1 (1)	50.0%	1	1 (1)
	2	0	0 (0)	0.0%	0	0 (0)	
	コミュニケーション学科	若干名	—	—	—	2	2 (1)
小 計	—	1	1 (1)	—	4	3 (1)	
総合政策学部	経営学科	85	255	94 (28)	110.5%	280	99 (36)
	法律行政学科	75	210	93 (22)	124.0%	175	74 (14)
	総合政策学科	85	203	99 (32)	116.4%	216	86 (31)
	小 計	245	668	286 (82)	116.7%	671	259 (81)
看護学部	看護学科	80	260	81 (68)	101.2%	268	91 (82)
合 計		721	1990	790 (409)	109.5%	2,010	778 (408)
	3年次編入学 合 計	—	1	1 (1)	—	4	3 (2)

常磐短期大学

<2022 年度>

学科	入学定員	志願者数	入学者数	定員充足率
キャリア教養学科	100	76	63 (61)	63.0%
幼児教育保育学科	140	111	107 (105)	76.4%
合計	240	187	170 (166)	70.8%

<2021 年度>

志願者数	入学者数
60	54 (53)
137	129 (124)
197	183 (177)

常磐大学高等学校

<2022 年度>

入学定員	募集定員	志願者数	入学者数	募集定員充足率
440	400	1744	395 (244)	98.7%

<2021 年度>

志願者数	入学者数
2,108	397 (273)

智学館中等教育学校

<2022 年度>

入学定員	志願者数	入学者数	定員充足率
120	57	23 (14)	19.1%

<2021 年度>

志願者数	入学者数
69	19 (9)

常磐大学幼稚園

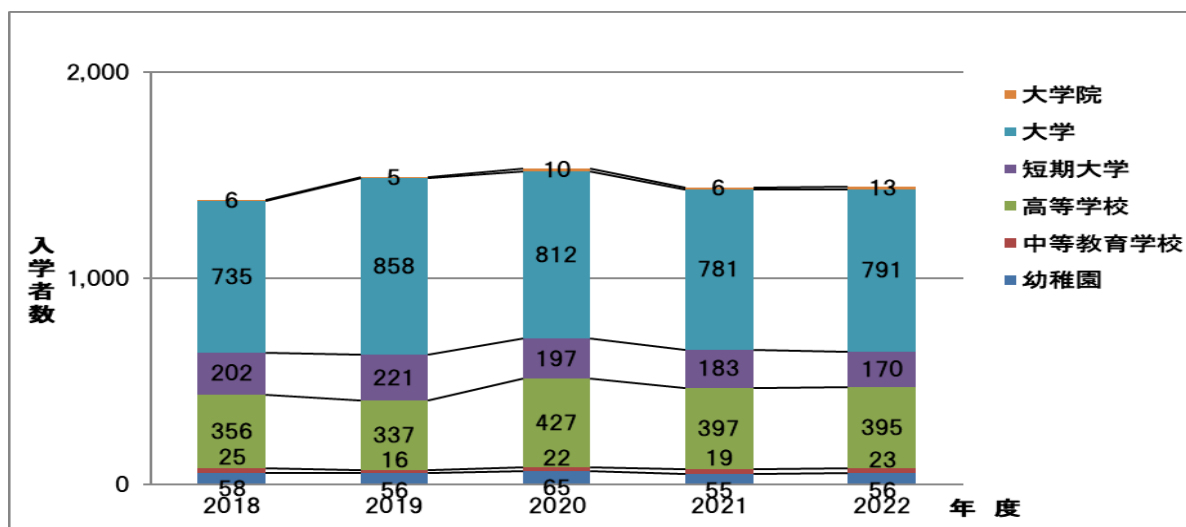
<2022 年度>

	募集人員	志願者数	入園者数	募集人員充足率
3歳児	55	50	47 (24)	85.4%
4歳児	10	7	7 (5)	—
5歳児	募集なし	2	2 (0)	—
合計	—	59	56 (29)	—

<2021 年度>

志願者数	入園者数
53	49 (30)
6	6 (2)
—	—
59	55 (32)

過去5年間の入学者数推移



③ 進路状況 (2022年3月31日現在)

常磐大学大学院

<2021 年度>

研究科・課程	卒業生	就職希望者	就職者	就職率
人間科学研究科 (博士)	0	0	0	—
人間科学研究科 (修士)	9	9	8	88.9%

<2020 年度>

卒業生	就職希望者	就職者	就職率
0	0	0	—
4	1	1	100.0%

【就職】 豊後荘病院, 防衛省陸上自衛隊, 土浦児童相談所, 越谷市役所, 特定非営利活動法人子どもの家, 児童養護施設樹学園, 社会福祉法人香取学園, 社会福祉法人はまぎくの会

常磐大学・常磐短期大学

<2021 年度>

学部・学科・選考	卒業生	就職希望者	就職者	就職率
心理学科	73	58	57	98.3%

<2020 年度>

卒業生	就職希望者	就職者	就職率
65	56	50	89.3%

人間科学部	教育学科	63	53	53	100.0%
	現代社会学科	101	93	92	98.9%
	コミュニケーション学科	44	40	37	92.5%
	健康栄養学科	75	73	72	98.6%
	人間科学部計	356	317	311	98.1%
総合政策学部	経営学科	98	88	85	96.6%
	法律行政学科	34	29	27	93.1%
	総合政策学科	53	46	43	93.5%
	総合政策学部計	185	163	155	95.1%
国際学部	経営学科	1	0	0	0%
	国際学部計	1	0	0	0%
コミュニティ振興学部	コミュニティ文化学科	—	—	—	—
	地域政策学科	—	—	—	—
	コミュニティ振興学部計	—	—	—	—
看護学部	看護学科	85	80	80	100.0%
	看護学部計	85	80	80	100.0%
大学計		627	560	546	97.5%
キャリア教養学科		66	60	57	95.0%
幼児教育保育学科		118	114	114	100.0%
短期大学計		184	174	171	98.3%

66	53	51	96.2%
94	80	77	96.3%
36	29	26	89.7%
80	77	77	100.0%
341	295	281	95.3%
73	67	67	100.0%
33	30	28	93.3%
50	45	43	95.6%
156	142	138	97.2%
1	1	1	100.0%
1	1	1	100.0%
1	1	1	100.0%
2	2	1	50.0%
3	3	2	66.6%
—	—	—	—
—	—	—	—
501	441	422	95.7%
70	54	51	94.4%
139	133	133	100.0%
209	187	184	98.4%

※主な就職先

大学

【民間企業】 アイ・イー・シー／アイワ技研／青山／アクトシステム／愛の里／朝日生命保険相互会社／旭物産／ALSOK茨城／アントステラ／E&Eテクノサービス／イオンリテール／一誠商事／茨進／イパデン／茨日ホールディング／茨城旭村農業協同組合／茨城いすゞ自動車／茨城県建設技術公社／茨城県商工会連合会／茨城県信用組合／茨城県西部メディカルセンター／茨城県農業共済組合連合会／茨城県立こども病院／茨城交通／茨城新聞社／茨城セキスイハイム／茨城ダイハツ販売／茨城トヨタ自動車／茨城トヨペット／茨城日産自動車／茨城東病院／茨城日野自動車／茨城ヤナセ／いわき病院／上の原学園／ウルノ商事／ARMK／エイジェック／エームサービス／NTT東日本－南関東／エムエス／オークス・ウェルフェア／岡三証券／岡田電気産業／小野税理士法人／水戸済生会総合病院／カスミ／カワチ薬品／関東情報サービス／関東福山通運／北関東マツダ／クスリのアオキ／グランディハウス／慶育会／ケーシーエス／ケーズホールディングス／江東微生物研究所／香陵住販／国立国際医療研究センター病院／国立成育医療研究センター／霞ヶ浦医療センター／災害医療センター／コスモス薬品／コマツ茨城／コンパスグループ・ジャパン／山水苑／サンユーストアー／自治医科大学附属さいたま医療センター／自治医科大学附属病院／ジャパンミート／ジョイフル本田／牛久愛和総合病院／常陽銀行／常洋水産／スズキ自販茨城／新東京病院／SAYコンピュータ／清心福祉会／セイミヤ／関彰商事／セントラルフード／タイショー／タイヨー／高砂福祉会／筑波記念病院／筑波大学附属病院／筑波メディカルセンター病院／ツルハ／デジタルサーブ／テラソフト／東京医科大学病院／棟匠／学校法人常磐大学／獨協医科大学埼玉医療センター／トヨタL&F／トヨタカローラ新茨城／トヨタカローラ南茨城／トヨタモビリティパーツ／トヨタレンタリース茨城／ナザレ園／日産プリンス茨城販売／日清医療食品／日本製鉄／武蔵小杉病院／日本サポートシステム／水戸協同病院／水戸赤十字病院／ネットトヨタ水戸／ノーブルホーム／東日本技術研究所／東日本電信電話（NTT東日本）関東病院／日立総合病院／ひたちなか総合病院／ひたちなか市社会福祉協議会／常陸農業協同組合／日立物流東日本／富士産業／富士フィルムビジネスイノベーションジャパン／ベネミール／北養会／水戸京成百貨店／水戸市社会福祉協議会／水戸証券／水戸信用金庫／水戸農業協同組合／水戸ヤクルト販売／新松戸中央総合病院／メフォス／メフォス東日本／M o n o t a R O／諸岡／山新／ヤマダホールディングス／ヤマト運輸／勇成会／ヨークベニマル／わかな保育園 【公務員】 茨城県庁／高萩市役所／北茨城市役所／常陸大宮市役所／ひたちなか市役所／水戸市役所／南相馬市役所／飯能市役所／茨城県警察本部／防衛省陸上自衛隊／小美玉市消防本部／笠間市消防本部／喜多方地方広域市町村圏組合／ひたちなか・東海広域事務組合消防本部／茨城県公立学校／福島県公立学校

短期大学 【民間企業】 アドバンス／磯崎自動車工業／いばらき会／茨城県信用組合／茨城ダイハツ販売／茨城トヨタ自動車／茨城日産自動車／茨城ヤナセ／ウエルシア薬局／ARMK／エイトプランニングオフィス／エコス／小野税理士法人／カインズ／カスミ／カワチ薬品／香陵住販／コネクショ／スズキ自販茨城／多久製作所／長寿荘／TBCグループ／としまや（としまや月浜の湯）／友部自動車学校／トヨタカローラ南茨城／トヨタホーム茨城／西尾レントオール／ニッポンレンタカー東関東／ネットトヨタ水戸／坂東太郎／日立保険サービス／福島トヨタ自動車／水戸中央病院／ホンダバルノ茨城北／ヨークベニマル／ロイヤルハウス石岡 【保育園・幼稚園・認定こども園】 愛友福祉会／アイリス保育園／合同会社青山／旭保育園／彩の国保育園／あゆみ保育園／いくり保育園／茨城県道心園／岩間第一幼稚園／瓜連保育園／おおくす佐野保育園／太田さくら認定こども園／大塚ひのまる幼稚園／大宮みのり保育園／笠原保育園／勝田あすなろ保育園／勝田すみれ保育園／北浦こども園／株式会社グローバルキッズ／けやき台保育園／恋瀬ことりの森幼稚園／こどものいえ認定こども園／木の間インターナショナル保育園／こぼと保育園／さくらこども園／さくら第二保育園／さくら保育園／さくら幼稚園／児童養護施設るんぴにー／下館聖母／聖徳保育園／常北保育園／すみ

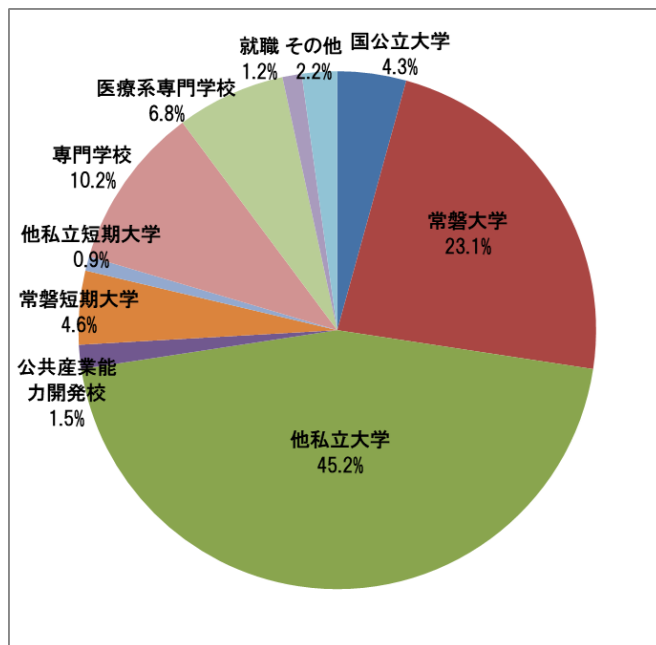


よし保育園／すみれこども園／諏訪かおる幼稚園／清心福祉会／聖隷会／田尻徳風保育園／たんぼぼ保育園／ちゃいるどはうす森のほいくえん／つくし学園／つくば中央保育園／同仁会子どもホーム／同仁会乳児院／同仁東保育園／どろんこ会／中村白百合幼稚園／はーとびあ保育園／はとり保育園／はなのわ保育園／ひがしなるさわ幼稚園／ひたち医療センター／ひばり幼稚園／ひまわり保育園／ひよどり保育園／藤沢保育園／ほほえみ学びの森わかば園／堀あさひこども園／松ヶ丘認定こども園／みぎわ保育園／三つ葉幼稚園／みどりこども園／ユアアイ村／百合が丘ひまわり保育園／わかな保育園／渡里幼稚園 【公務員】 日立市役所

### 常磐大学高等学校

<2021 年度>

進 路 先		人数	比率
大学	国公立大学	14	4.3%
	常磐大学	75	23.1%
	他私立大学	147	45.2%
	小計	236	72.6%
短期大学	公共産業能力開発校	5	1.5%
	公立短期大学	0	0%
	常磐短期大学	15	4.6%
	他私立短期大学	3	0.9%
	小計	23	7.1%
専門学校	専門学校	33	10.2%
	医療系専門学校	22	6.8%
	小計	55	16.9%
就職		4	1.2%
その他		7	2.2%
合 計		325	100%



【国公立大学】 筑波大学／茨城大学／茨城県立医療大学／宇都宮大学／群馬大学／福島大学／山形大学／琉球大学

【私立大学】 常磐大学／アール医療専門職大学／茨城キリスト教大学／江戸川大学／桜美林大学／大妻女子大学／神奈川大学／鎌倉女子大学／亀田医療大学／神田外語大学／関東学院大学／共栄大学／共立女子大学／杏林大学／敬愛大学／国際医療福祉大学／国土舘大学／駒澤大学／埼玉学園大学／産業能率大学／実践女子大学／秀明大学／淑徳大学／種智院大学／順天堂大学／城西国際大学／城西大学／上武大学／昭和女子大学／聖心女子大学／聖徳大学／清和大学／専修大学／仙台大学／大東文化大学／拓殖大学／玉川大学／千葉工業大学／千葉商科大学／中央学院大学／つくば国際大学／津田塾大学／帝京科学大学／帝京大学／帝京平成大学／桐蔭横浜大学／東海大学／東京有明医療大学／東京経済大学／東京工科大学／東京電機大学／東京富士大学／東京薬科大学／同志社大学／東邦大学／東洋学園大学／東洋大学／獨協大学／奈良大学／日本医療科学大学／日本工業大学／日本獣生命科学大学／日本女子体育大学／日本体育大学／白鷗大学／文化学園大学／文京学院大学／文教大学／北海学園大学／明治学院大学／目白大学／立命館大学／流通経済大学／麗澤大学

【私立短期大学】 常磐短期大学／聖徳大学短期大学部／戸板女子短期大学／日本大学短期大学部

【公共産業能力開発校】 職業能力開発総合大学校

／関東職業能力開発大学校／茨城県立日立産業技術専門学院／茨城県立産業技術短期大学校

【専門学校】 茨城県立中央看護専門学校／アジア動物専門学校／コーセー美容専門学校／さくら総合専門学校／つくば栄養医療調理製菓専門学校／ベルエポック美容専門学校／リリーこども&スポーツ専門学校／茨城県結城看護専門学校／茨城歯科専門学校／茨城北西看護専門学校／茨城理容美容専門学校／山野美容専門学校／神田外語学院

／J R 東京総合病院高等看護学園／水戸ビューティカレッジ／水戸メディカルカレッジ／水戸医師会看護専門学院／水戸看護福祉専門学校／水戸経理専門学校／水戸電子専門学校／水戸日建工科専門学校／専門学校ビジョナリーアーツ

／早稲田美容専門学校／大原医療ホテル観光専門学校水戸校／大原簿記情報公務員専門学校／中川学園調理技術専門学校

／土浦協同病院附属看護専門学校／東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校／東放学園専門学校

／東洋理容美容専門学校／日本工学院／日本美容専門学校／福島医療専門学校／文化デザイナー学院

／了徳寺学園医療専門学校

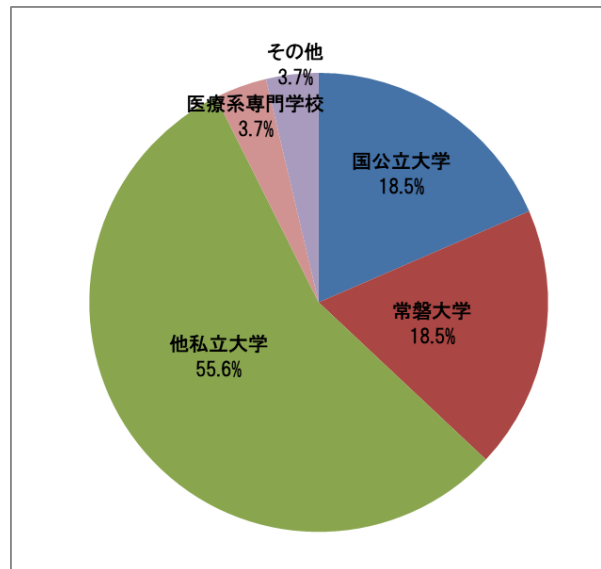
【就職】 茨城県警察／自衛隊／株式会社伊東園ホテルズ／アキム株式会社

### 智学館中等教育学校

<2021 年度>

進 路 先		人数	比率
大学	国公立大学	5	18.5%
	常磐大学	5	18.5%
	他私立大学	15	55.6%

	小計	25	92.6%
短期大学	国公立短期大学	0	0%
	常磐短期大学	0	0%
	他私立短期大学	0	0%
	小計	0	0%
専門学校	専門学校	0	0%
	医療系専門学校	1	3.7%
	小計	1	3.7%
就職		0	0%
その他		1	3.7%
合 計		27	100%



【国公立大学】 茨城大学／信州大学／北見工業大学 【私立大学】 常磐大学／茨城キリスト教大学／大東文化大学／日本女子大学／実践女子大学／国際医療福祉大学／東京工科大学／東京農業大学／東洋大学／日本大学／駒澤大学／文教大学／東邦大学 【専門学校】 水戸メディカルカレッジ

### (5) 役員の概要

定員数 理事 10名～13名, 監事 2名 現員数 理事 11名, 監事 2名

区 分 (選任条項)	2022年5月1日現在			2021年5月1日現在		
	氏 名 (就任年月日)	常・非	主な現職等	氏 名 (就任年月日)	常・非	主な現職等
理 事 長 (第5条第2項)	小櫃 重秀 (2019年4月1日)	常勤		小櫃 重秀 (2019年4月1日)	常勤	
理 事 (第6条第1項第1号)	富田 敬子 (2019年4月1日)	常勤	常磐大学・常磐短期大学学長	富田 敬子 (2019年4月1日)	常勤	常磐大学・常磐短期大学学長
理 事 (第6条第1項第2号)	稲葉 節生 (2021年4月1日)	非常勤	元茨城県教育委員会教育長	稲葉 節生 (2021年4月1日)	非常勤	元茨城県教育委員会教育長
	中崎 啓子 (2017年4月1日)	非常勤	常磐短期大学同窓会みわの会会長	中崎 啓子 (2017年4月1日)	非常勤	常磐短期大学同窓会みわの会会長
	加藤 高蔵 (2021年4月1日)	非常勤	明利酒類(株)代表取締役	加藤 高蔵 (2021年4月1日)	非常勤	明利酒類(株)代表取締役
理 事 (第6条第1項第3号)	幡谷 信勝 (2013年1月31日)	非常勤	元茨城県信用組合副理事長	幡谷 信勝 (2013年1月31日)	非常勤	元茨城県信用組合副理事長
	田中 俊郎 (2015年3月26日)	非常勤	慶應義塾大学名誉教授	田中 俊郎 (2015年3月26日)	非常勤	慶應義塾大学名誉教授
	小櫃 重秀 (2014年4月1日) 〔再掲〕	常勤		小櫃 重秀 (2014年4月1日) 〔再掲〕	常勤	
常任理事 (第6条第1項第4号)	横須賀 敬章 (2015年3月1日)	常勤	(学)常磐大学事務局長	横須賀 敬章 (2015年3月1日)	常勤	(学)常磐大学事務局長
	渡部 茂己 (2019年3月1日)	常勤		渡部 茂己 (2019年3月1日)	常勤	常磐大学幼稚園園長
	前沢 裕己 (2019年4月1日)	常勤		前沢 裕己 (2019年4月1日)	常勤	
	大槻 行徳 (2019年3月1日)	常勤	(学)常磐大学総務課統括	大槻 行徳 (2019年3月1日)	常勤	(学)常磐大学総務課統括
監 事 (第7条第1項)	荒川 誠司 (2003年4月1日)	非常勤	弁護士, 荒川法律事務所	荒川 誠司 (2003年4月1日)	非常勤	弁護士, 荒川法律事務所
	若山 実 (2005年6月1日)	非常勤	税理士, 若山実税理士事務所	若山 実 (2005年6月1日)	非常勤	税理士, 若山実税理士事務所

## (6) 評議員の概要

定員数 21名～27名 現員数 23名

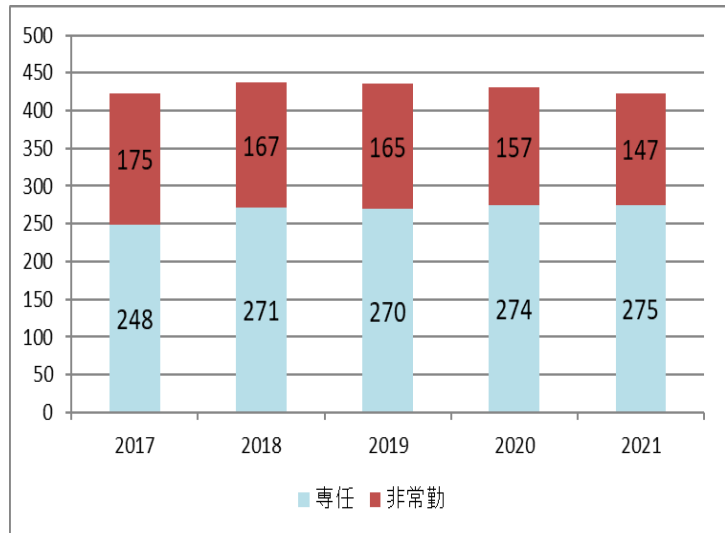
区分 (選任条項)	2022年5月1日現在		2021年5月1日現在	
	氏名 (就任年月日)	主な現職等	氏名 (就任年月日)	主な現職等
法人の職員 (第24条第1項1号)	河野 敬一 (2021年5月27日)	常磐大学副学長	川津 園恵 (2013年4月1日)	(学)常磐大学総務課統括補佐
	柏 正則 (2021年4月1日)	常磐大学高等学校校長	柏 正則 (2021年4月1日)	常磐大学高等学校校長
	酒巻 洋一 (2020年3月1日)	常磐短期大学副学長	酒巻 洋一 (2020年3月1日)	常磐短期大学副学長
	水嶋 陽子 (2017年3月1日)	常磐大学人間科学研究科長, 人間科学部長	水嶋 陽子 (2017年3月1日)	常磐大学人間科学部長
	西野 光範 (2017年3月1日)	常磐大学学生支援センター統 括	西野 光範 (2017年3月1日)	常磐大学学生支援センター統 括
	吉武 政治 (2019年3月1日)	智学館中等教育学校校長	吉武 政治 (2019年3月1日)	智学館中等教育学校校長
卒業生 (第24条第1項2号)	池田 正則 (2005年3月1日)	常磐大学同窓会会長 水戸市社会福祉協議会	池田 正則 (2005年3月1日)	常磐大学同窓会会長 水戸市社会福祉協議会
	中崎 啓子 (2007年4月1日)	常磐短期大学同窓会みわの会 会長	中崎 啓子 (2007年4月1日)	常磐短期大学同窓会みわの会 会長
	小林 千代子 (2015年3月1日)	常磐学園同窓会(常磐大学高等 学校同窓会) 副会長	小林 千代子 (2015年3月1日)	常磐学園同窓会(常磐大学高等 学校同窓会) 副会長
在学生の保護者 (第24条第1項3号)	木村 勤 (2022年4月1日)	常磐大学後援会会長就任予定 者	軍司 浩作 (2021年4月1日)	常磐大学後援会会長就任予定 者
	一毛 由起子 (2022年4月1日)	常磐短期大学父母の会会長就 任予定者	武井 玲奈 (2021年4月1日)	常磐短期大学父母の会会長就 任予定者
	軍司 雅明 (2021年4月1日)	常磐大学高等学校 PTA 会長	軍司 雅明 (2021年4月1日)	常磐大学高等学校 PTA 会長就 任予定者
学識経験者 (第24条第1項4号)	稲葉 節生 (2021年4月1日)	元茨城県教育委員会教育長	稲葉 節生 (2021年4月1日)	元茨城県教育委員会教育長
	石渡 千恵子 (2007年4月1日)	石渡産婦人科病院副院長 元茨城県教育委員会委員長	石渡 千恵子 (2007年4月1日)	石渡産婦人科病院副院長 元茨城県教育委員会委員長
	師岡 文男 (2009年6月1日)	上智大学名誉教授	師岡 文男 (2009年6月1日)	上智大学名誉教授
	橋本 五郎 (2009年9月10日)	読売新聞特別編集委員	橋本 五郎 (2009年9月10日)	読売新聞特別編集委員
	遠山 勤 (2010年3月26日)	元(株)常陽銀行顧問, 元(財)常陽地 域研究センター理事長	遠山 勤 (2010年3月26日)	元(株)常陽銀行顧問, 元(財)常陽地 域研究センター理事長
	柴原 宏一 (2021年4月1日)	常磐大学特任教授, 元茨城県教 育委員会教育長	柴原 宏一 (2021年4月1日)	元茨城県教育委員会教育長, 公 益財団法人茨城県教育財団理 事長
	坂本 達哉 (2012年4月1日)	早稲田大学政治経済学術院教 授, 慶應義塾大学名誉教授	坂本 達哉 (2012年4月1日)	早稲田大学政治経済学術院教 授, 慶應義塾大学名誉教授
	内藤 学 (2021年4月1日)	水戸ヤクルト販売(株)代表取 締役社長	内藤 学 (2021年4月1日)	水戸ヤクルト販売(株)代表取 締役社長
	山口 正雄 (2015年4月1日)	鉾田市教育委員会委員	山口 正雄 (2015年4月1日)	鉾田市教育委員会委員
	山口 高史 (2017年12月1日)	国立病院機構水戸医療センタ ー名誉院長	山口 高史 (2017年12月1日)	国立病院機構水戸医療センタ ー院長
	加藤 高藏 (2018年4月1日)	明利酒類(株)代表取締役, (一社) 水戸観光コンベンション協会 会長	加藤 高藏 (2018年4月1日)	明利酒類(株)代表取締役, (一社) 水戸観光コンベンション協会 会長

## (7) 職員の概要

### ① 教育職員数 (2021年5月1日現在)

			人数
常磐大学 大学院	専任	教授	0 (0)
		准教授	0 (0)
		講師・助教	0 (0)
	小計	0 (0)	
	非常勤	1 (1)	
常磐大学	専任	教授	54 (17)
		准教授	47 (24)
		講師・助教	31 (15)
	小計	132 (56)	
	非常勤	89 (30)	
常磐短期 大学	専任	教授	8 (3)
		准教授	9 (4)
		講師・助教	5 (2)
	小計	22 (9)	
	非常勤	23 (17)	
常磐大学 高等学校	専任	79 (26)	
	非常勤	19 (14)	
智学館中等 教育学校	専任	33 (11)	
	非常勤	4 (3)	
常磐大学 幼稚園	専任	9 (8)	
	非常勤	11 (11)	
合計	専任	275 (110)	
	非常勤	147 (76)	

### 過去5年間の教育職員推移

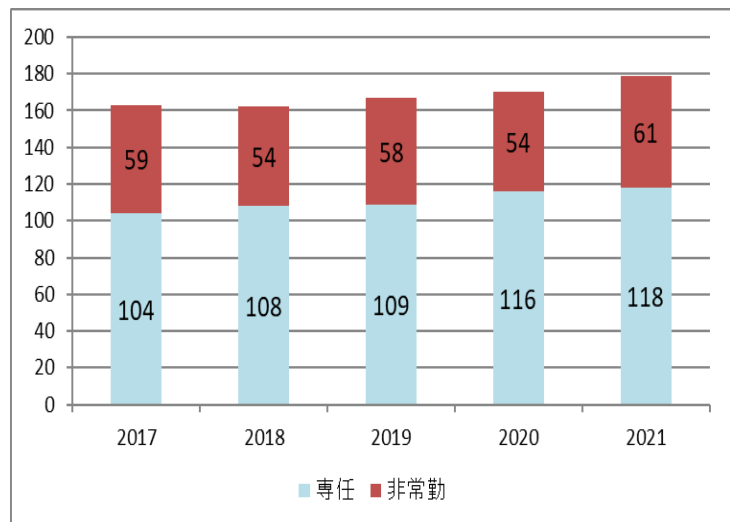


### ② 事務職員数 (2021年5月1日現在)

		人数
常磐大学大学院 常磐大学 常磐短期大学	専任	108 (59)
	非常勤	45 (38)
常磐大学高等学校	専任	6 (2)
	非常勤	8 (5)
智学館中等 教育学校	専任	3 (2)
	非常勤	4 (3)
常磐大学幼稚園	専任	1 (1)
	非常勤	4 (2)
合計	専任	118 (64)
	非常勤	61 (48)

※()内の数字は、女性の人数を内数で示す。

### 過去5年間の事務職員数推移



## 2 事業の概要

### (1) 2021年度事業報告

#### 【学校法人常磐大学】

#### 1 人事政策

##### (1) 教職員人事制度の見直し

###### ① 事務系職員の職位運用体系の整備

「学校法人常磐大学事務職員の職位に関する規程」の職位ごとに必要とされる能力に基づき、役職、職位の要件および職務の級との整合性について、現行との齟齬を精査した。

###### ② 65歳定年(引き上げ)の検討

定年延長は、新規採用人事や給与体系の抜本的な改革と密接不可分であることから、関係法令の改正、公務員の定年延長および他大学の動向などを見極めつつ、引き続き、慎重な検討を進めている段階にある。なお、公務員の定年が段階的に65歳に引き上げとなることを踏まえ、その動向を注視しつ

つ、適切な対応を取るよう注力した。

③ 働き方改革を踏まえた労働時間管理の徹底および環境整備への取り組み

時間外労働の是正（残業時間の上限規制）、過労死防止のための健康確保措置の拡充等が盛り込まれた働き方改革関連法案の施行を踏まえ、引き続き、定時退勤の勧奨、育児や健康状態など個々の職員が抱える多様な事情への柔軟な対応や、年次有給休暇を取得しやすい環境の整備を推進した。

(2) 人員計画・人事採用計画の見直し

① 法人の現状を踏まえた教職員構成等に関する人事政策の策定

全体人数、教授数ともに設置基準を充足している状況の下、定年や任期満了等に伴う欠員充足については、引き続き、その専門性や必要性を見極めた適正数の確保に努めた。

② 退職者推移、非常勤職員の無期雇用転換を踏えた人員計画、人事採用計画の見直し

人事計画について、年齢構成の平準化、女性の管理職登用の促進、政府の雇用方針等を踏まえた採用計画を立案し、見直しを行った。

(3) 計画的な人材育成、研修施策の実施

① 研修体系に沿った体系的な研修の実施

新規採用職員に対する学内研修のほか、日本私立大学連盟の研修プログラムによる目的別研修を中心とした研修計画を引き続き実施した。また、新任管理職者、女性リーダー育成、若手職員育成、管理職研修に派遣し、教育訓練の機会を積極的に設けた。

② 自己啓発等への取り組みとFD・SDへの参加を通じた人材育成への取り組み

各種の知識、能力、技量の向上等を目的とした自己啓発等への取り組みの推奨と「教職協働」による学校運営を進めるため、FDおよびSDに教育職員と事務職員が相互に参加するプログラムとして大学院を含めたFDフォーラム等への出席を促し、引き続き連携強化に努めた。

③ 女性管理職者の登用促進

女性活躍推進法による一般事業主行動計画を踏まえ、女性管理職者の登用促進に努め、新たに2人を統括補佐に登用した。

(4) 人事考課制度の導入に向けた検討

① 大学教員の人事考課制度導入の検討

大学教員の人事考課については、未だ導入の検討段階であり、引き続き他大学の先進的な事例研究に努めたほか、教員が昇格する際の研究業績の評価基準・方法を見直し、規程を改正の上、より適正な透明性の高い審査を実施した。

(5) 認証評価指摘事項の対応

短期大学基準協会からの指摘事項を踏まえ、各教員の研究業績の実績について、個人研究費研究成果(経過)報告書のほか、2023年度の大学の第三者評価受審に先立ち、基準協会所定様式により、確認を行った。

項目	目標	2021年度実績
女性管理職の登用	30%	28.6%
時間外労働時間数（事務職員）	1カ月平均6時間以下/人	5.9時間/人

## 2 財務基盤

(1) 事業活動収支差額均衡化の維持、継続

経営の安定性維持のため、学生生徒の入学者動向や在籍状況を踏まえた予算の配分に注力し、継続して収支均衡化の調整を図った。

項目	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績
経常収支差額比率	+2.1%	+0.8%	+6.4%
事業活動収支差額比率	+2.1%	+1.4%	+6.6%

(2) 事業活動収入の安定的な確保

自己財源である学生生徒等納付金の確保と納付金以外での安定的な収入確保

① 各設置学校入学定員の確保による自己財源の確保

項目	2020 年度実績	2021 年度実績
大 学	3,402,067,600 円	3,614,036,800 円
短期大学	476,255,000 円	430,224,000 円
高等学校	602,835,500 円	609,534,750 円
中等教育学校	90,363,000 円	85,140,970 円
学生生徒等納付金収入計	4,571,521,100 円	4,738,936,520 円

\*幼稚園については、2019年10月より無償化（すべて補助金扱い）

\*各設置学校入学者数については、2022年度入試状況にて詳細記載

② 国庫・地方公共団体補助金の維持および確保

項目	2020 年度実績	2021 年度実績
国庫補助金収入	528,997,600 円	504,220,600 円
地方公共団体補助金収入	523,901,033 円	524,217,385 円
施設型給付費収入	123,483,336 円	130,838,504 円
補助金収入計	1,176,381,969 円	1,159,276,489 円

③ 寄付募集活動の維持，継続および創設

経済的理由により学業継続が困難な学生・生徒に対しての経済的支援（諸澤幸雄奨学金制度の募金）をはじめ、見和キャンパス開設50年施設整備事業募金や様々な活動における支援の充実が図れるよう募金活動を継続する。

募金総額累計（内 2021年度） 200,769,406 円（11,179,190 円）

募金件数累計（内 2021年度） 5,709 件（312 件）

ア 見和キャンパス開設50年施設整備事業募金の継続（2016年4月～2023年3月まで）

募金額累計（内 2021年度） 15,454,331 円（1,174,190 円）

募金件数累計（内 2021年度） 952 件（139 件）

イ 諸澤幸雄奨学金制度（給付型奨学金）への募金（2009年11月～）

募金額累計（内 2021年度） 120,621,398 円（5,965,000 円）

募金件数累計（内 2021年度） 4,597 件（168 件）

諸澤幸雄奨学金給付実績累計（内 2021年度）

	I種 奨学生	II種 奨学生	給付額
大学院	0名（0名）	0名（0名）	0円（0円）
大 学	99名（8名）	51名（4名）※	33,179,150円（2,466,650円）
短期大学	10名（0名）	11名（0名）※	4,950,000円（0円）
高等学校	29名（0名）	11名（0名）	2,804,160円（0円）
中等教育学校	13名（1名）	4名（0名）	1,901,040円（105,000円）
計	151名（9名）	77名（4名）	42,834,350円（2,571,650円）

※緊急II種奨学生を含む

ウ 教育および学術研究の充実・発展のための募金の継続（2009年11月～）

募金額累計（内 2021年度） 64,693,677 円（4,040,000 円）

募金件数累計（内 2021年度） 160 件（5 件）

エ 常磐大学高等学校創立100周年施設整備事業（仮称）募金の創設（2022年4月～2032年3月まで）

教育活動・学習支援のための環境整備資金（ICT環境・体育施設等キャンパス整備）として、「常磐大学高等学校創立100周年募金」を創設し、2022年4月からの10年間を募集期間として募金活動に取り組むことを決定した。

(3) 事業活動支出の継続的抑制

事業活動収支差額の均衡化を維持するため、継続して在籍者数に応じた予算の配分調整と経費の抑制を実施した。

① 経常的経費支出の適正化

## ② 教育研究経費支出の適正化

2021年度決算における財務比率は、下表のとおり教育研究経費比率31.1%（全国平均35.2%）、管理経費比率6.8%（全国平均8.2%）、人件費比率55.5%（全国平均51.8%）と全国平均（令和3年度版「今日の私学財政」参考）と比較して経費比率がやや低値での比率構成となった。また、法人としての課題でもある事業活動収支差額の均衡化においては、事業活動収支差額比率6.6%（全国平均5.2%）と昨年度に続き、安定した経営状況を維持することができた。今後も教育研究の充実を図るとともに、支出の適正化を図り、財務基盤の安定に努めていく。

項目	目標	2021年度実績
管理経費比率	9%以下	法人：6.8%（大学：6.4%・短期大学：9.6%）
教育研究経費比率	30%以上	法人：31.1%（大学：29.3%・短期大学：29.6%）
事業活動収支差額比率	+1.0%	法人：+6.6%（大学：+17.1%・短期大学：+2.0%）
人件費比率	60%以下	法人：55.5%（大学：47.1%・短期大学：58.8%）

## 3 施設設備

### (1) 教育環境の整備

① 見和キャンパスA・B棟改築の基本計画の策定および基本設計・実施計画の開始、第2号基本金への組入れ（5年目）

- ・A・B棟改築の基本計画を策定し、その過程で新B棟建築の方針が決定され基本設計を開始した。
- ・第2号基本金への組入れ（5年目）を実施した。

### (2) 安全安心な環境の維持

① 法定建物定期調査の実施

建築基準法で定められている特定建築物の定期報告を実施し水戸市へ報告するとともに、非構造部材の耐震点検を行った。

項目	目標	2021年度実績
整備計画実行率	100%	100%
耐震化率	全国平均以上（2020年度全国平均94.0%）	92.9%

## 4 管理運営

### (1) 学校法人常磐大学中期計画（2019－2023）「TOKIWA VISION 2023」の進捗管理

評議員会、理事会において、中期計画2年目の達成状況を確認し、計画内容および目標数値等について、検証を行った。

### (2) 学校間の相互交流・連携強化

① 学校間連携協議会の開催および連携事業の推進

学校間連携協議会では、高大連携に関する案件のほか、諸学校の課題について多角的な視点で協議した。また、理事長、常任理事、各学校長による会合を定期的で開催し、法人内の各学校間の連携体制を強化した。

### (3) 看護学研究科開設に向けた取り組み

常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程について、2021年8月に文部科学省から設置認可され、2022年4月より開設することとなった。

### (4) 常磐短期大学将来構想の検討

2023年度より、キャリア教養学科の募集停止および幼児教育保育学科の入学定員変更（140人から120人）を決定した。

### (5) 智学館中等教育学校の運営に関する検討

2023年度より、智学館中等教育学校を募集停止とし、すべての生徒の卒業（離籍）をもって閉校することを決定した。

## 【常磐大学】

<アドミッション・ポリシー>

本学の学則等に示された教育の理念・教育の方針・教育の目的等を理解し、社会や地域に貢献するための社会適応力および社会活動力を身に付ける意欲のある人を求めます。

1. 本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶために必要な意欲と基礎学力を備えている。
2. 社会で求められる基礎能力、社会で活躍するために必要な応用能力、さらに基礎能力と応用能力の結合を通して、新たな課題に挑戦する発展的な能力を身に付ける意欲を持っている。
3. 人間や人間の発達、社会や地域にかかわる様々な問題に関心を持ち、広い視野と柔軟な思考によって課題解決に向けて積極果敢に取り組む意欲を持っている。
4. 本学で修得する教養と専攻領域の広く深い知識・スキルを駆使して、社会や地域に貢献しようという意志を持っている。

#### ＜カリキュラム・ポリシー＞

本学の学則等に示された教育の理念・教育の方針・教育の目的等と養成したい学生像に基づき、全学生を対象とする科目とそれぞれの学部・学科の教育目標にあわせた科目を2つの大きな柱として、それぞれの学部・学科に合わせたカリキュラムを編成します。

1. 現代社会に生きる人間として不可欠な素養を身につけるとともに、幅広い視点から物事を判断する知識を修得するため、多様でかつ調和のとれた教養教育を実施する。
2. 国際共通語としての英語に焦点を当て、一人ひとりが段階的に学べるように英語科目を編成する。
3. 大学での学びの基礎として、「読む・聴く」「書く・語る・伝える」「調べる」といった基本技法、統計によりデータを的確に集めてまとめる手法、そして、コンピュータで情報を分かりやすく整理し表現するスキルが身につくための初年次教育を実施する。
4. 基礎・応用・発展を明確にするカリキュラム分類コードによる系統的な学習と、自由なカリキュラム構築による学際的な学習を実施する。
5. 問題を発見して解決できる応用能力を養成するために、地域社会との連携も視野に入れた学部・学科を横断するプロジェクト型学習を実施する。

#### ＜ディプロマ・ポリシー＞

本学の学則等に示された教育の理念・教育の方針・教育の目的等を理解して広く深い教養と知識を学んだ後、社会や地域に貢献するための社会適応力および社会活動力を身につけた人材を養成します。

1. 目的意識をもって精力的に学んだ後、職業生活や社会生活を自立的に営みながら、さらなる専門性と創造性を高め、人格を磨いていくことができる。(知識・理解, 態度)
2. グローバル化の中で展開する知識基盤社会において、豊かな国際感覚で問題を捉え、その問題解決に真摯に取り組むことができる。(知識・理解, 思考・判断, 技能)
3. 集団の中で状況に応じて自分の役割を意識し、役割遂行に向けて最善の努力を惜みず、積極的で柔軟性をもった思考力を身につけている。(思考・判断, 態度)
4. プロジェクト型の取り組みで企画を創造的に立案し、チームワークを高めることに貢献して目標達成に向けて真摯に努力することができる。(知識・理解, 態度)

### 1 教育研究

#### (1) トキワ de SDGs の推進 (国連アカデミック・インパクトの基本原則の促進)

常磐大学が、地域社会と積極的に連携しながら、独自に取り組むSDGsに関する諸活動を“トキワ de SDGs”と称し、SDGs支援のための活動を推進している。特に、国際化推進の観点から、全学国際化推進会議を主体として、本学におけるSDGsに関する諸活動を推進することとし、関連情報を集約・発信するための仕組みを構築して「2020年度 常磐大学 SDGs 関連事業報告書」を作成するとともに、全学的な国際化を推進するための具体策を策定した。

#### (2) 国際化・グローバル化への対応のための教育の充実

##### ① 英語を中心とした外国語教育の充実 (Framework of Tokiwa English Curriculum (FTEC) の推進を含む)

多言語・多文化社会に対応した語学教育を推進する観点から、ガイダンス等において英語以外の語学の学修の重要性等を説明し、関連する授業科目の積極的な履修を促すとともに、学生の安定的な履修を可能とするため、一部の授業科目(群)について開講方法等を変更した。



2018年度から開始した「Framework of Tokiwa English Curriculum (FTEC)」については、文法解説動画（教材）の作成および活用による授業の質の改善、「Review Quiz」の見直しによる学習到達度の測定・評価方法の改善等に取り組んだ。また、FTECに接続する新たな英語学修の枠組みを構築するため、語学科目のカリキュラムを一部変更した。

## ② 国際交流語学学習センターにおける語学学習支援の充実

### ・Talk Time

英語を母国語とする教職員による外国語会話交流活動「Talk Time」を、対面で実施した。また、中国語「Talk Time」は、正規留学生および交換留学生在が担当し、オンラインを活用して実施した。

### ・Drop-in Lab

英語学習相談「Drop-in Lab」を実施し、留学希望者および英語の外部試験対策を希望する学生等を対象として、対面で語学学習支援を行った。

### ・留学準備・英語対策講座

交換留学制度等を利用して在学中の派遣留学を目指す学生や、外部英語試験（TOEFL iBT, TOEIC, 英検等）でさらなる級やスコアのアップを狙う学生を対象に、遠隔方式で4日間の留学準備・英語対策講座を開講した。

### ・オンラインによる外国語等会話交流

アメリカの協定校の学生との日・英語会話交流および、韓国の協定校の学生との日・韓国語会話交流、また、タイ、台湾、ベトナムの協定校の学生と日本語会話交流をオンラインで実施。カナダの協定校とは、高大連携事業として、常磐大学高校の生徒も交えて、日・英語会話交流をオンラインで実施した。国際交流会館入寮者に対し、韓国への派遣学生や過去の交換留学生在（受入）との会話交流の機会を設けた。

### ・TOKIWA Spirit

外国語によるプレゼンテーションイベントをオンラインで開催した。参加者は全員英語でプレゼンテーションを行い、英語のスキル向上につながる機会を提供した。

### ・学内 TOEIC (TOEIC IP) テスト

学内 TOEIC (TOEIC IP) テストのオンライン版を春semester期間に1回、秋semester期間に3回実施し、TOEICによる英語力確認の機会を提供した。

### ・Tokiwa English Award

全学的な英語表彰制度「Tokiwa English Award」を年2回実施。CASEC, TOEIC, 英検等で一定のスコア・級を取得した学生を表彰し、英語学習への持続的な意欲向上を図った。

## ③ 外国人向け日本語教師養成

平成31年3月「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）」（文化審議会国語分科会）に示された「必須の教育内容」等を踏まえ、人間科学部コミュニケーション学科において、法務省告示日本語教育機関の教員の要件に該当する「日本語教育に関する課程」（日本語教師養成課程）を開設した。

## (3) 教学マネジメントの確立

### ① 内部質保証システムの恒常化および実質化

各学部・研究科において点検・評価活動に取り組んだ。具体的には、建学の精神と教育の効果、教育課程と学生支援、教育資源と財的資源、リーダーシップとガバナンス等の項目別に当年度の実現計画を策定し、適時対応状況を確認するとともに、改善策を検討した。

### ② 学修成果の可視化

学校教育法施行規則第165条の2第2項の規定等を踏まえ、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー〈DP〉）との一貫性の確保に特に意を用いつつ、各学科等の主体により、教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー〈CP〉）の見直しを行った。また、知識・能力等の「学修（習）の成果」を基軸に、学修成果の構成要素とDPの対応表（複数の「新しい能力」への対応について）および履修系統図（表／図形式）を作成の上、公表した。

### ③ 適切な教育プログラムの編成・実施

各学科等が掲げるDPおよびCP等を踏まえ、「取得可能な免許」「取得可能な資格」および「目指す資格・検定」について、教育課程との相当関係、社会的通用性や有用性、学生募集上の効果などの観

点から、点検および見直しを行った。また、この見直しの結果および上記①における点検・評価活動の結果等を踏まえ、より適切に教育プログラムを編成するため、次の学科等においてカリキュラムを一部変更した。・大学院人間科学研究科 修士課程および博士課程（後期）、・学部共通科目（教養科目および語学科目）、・人間科学部心理学科、教育学科および現代社会学科（社会福祉士国家試験受験資格課程の廃止を含む）、・総合政策学部総合政策学科、・看護学部看護学科、・社会教育主事課程および学芸員課程（課程の廃止）

#### ④ 教職員の資質向上

学内教職員からの発表等を通じて、主に教育内容や方法の改善に関わる情報の共有、認識の確立等を図ることを目的として、「FD フォーラム」を開催した。テーマは「SDGs と大学教育」である。

#### (4) 教育研究活動の活性化に向けた外部資金獲得

科学研究費助成事業については、制度等説明会の開催、個別相談等を通じて、申請の支援および奨励等に取り組んだ。学内研究助成では、研究代表者として科学研究費助成事業へ申請し不採択となった研究で、次年度に同様の申請を行う研究を支援するための研究種目（特別奨励研究助成）を設けている。また、教育および学術研究の充実・発展のための寄付金については、資金の募集のほか、学内公募等による資金の活用に取り組み、2科目の寄付講座を開設するとともに、3件の教育研究活動を採択した。

2021年度の状況 [大学・短期大学合計、( )内は2020年度]

科学研究費助成事業 61件/20,418,620円 (43件/16,820,000円)

受託研究 1件/465,000円 (3件/2,175,000円)

寄付金等 1件/700,000円 (2件/1,700,000円)

寄付講座 2科目開講 (4科目開講)

教育研究助成 3件/450,000円 (5件/890,000円)

項目	目標	2021年度実績
語学学習支援企画への参加者数	130人	Talk Time (英語) 64人, Talk Time (中国語) 36人, 留学準備・英語対策講座 7人, TOKIWA Spirit 5人, Drop-in Lab 157人 合計 269人 (延べ数)
語学試験合格者数	223人	Tokiwa English Award 受賞者 124人 (ダイヤモンド賞 1人, プラチナ賞 5人, ゴールド賞 118人)
外部資金獲得額(大学・短期大学合計)	17,000千円	20,419千円
科研費獲得件数	34件	57件
FD活動参加率	75%以上	84.8%

## 2 学生支援

### (1) 学生満足度調査の結果公表と改善

2020年度学生満足度調査で要望のあった無線 LAN エリアの拡大、駐車場の台数増加について回答を行った。無線 LAN については増設工事を行い、環境改善がなされていることを回答した。駐車場の台数増加については遊休地のコインパーキング化を周囲に働きかけることを回答した。

### (2) 学修支援体制の充実

#### ① 「入学前教育の取り組み」、「基礎学力補完のための取り組み」および「正課の授業科目の教育内容」等の連携

2021年度は、次の諸点を踏まえて、入学前教育（2022年度入学者対象）を実施した。

- ・入学前教育の「大学共通課題」において所定の基準に到達していることを、「学びの技法Ⅱ」（1年次秋semester必修科目）の履修の要件とする。
- ・入学前教育の「大学共通課題」について、入学時に所定の基準に到達していない者に対しては、入学後も「基礎能力アッププログラム」の取り組み等を通じて、その達成を支援する。また、基礎学力補完および就職試験対策に関わる eラーニング教材「竹びと SPI」の取り組み状況を、「キャリア形成と大学」（1年次秋semester必修科目）の成績評価の一部に反映することにより、正課の授業科目の教育内容との連携を図った。

②「高等教育の修学支援新制度」の円滑な運用

校内の各種奨学金と日本学生支援機構奨学金を学生に案内するとともに、国の「高等教育の修学支援新制度」および新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「学びの継続のための『学生支援緊急給付金』」に対応した。「高等教育の修学支援新制度」採用者数：315人（内、新規採用者数：106人）、「学びの継続のための『学生支援緊急給付金』」採用者数：58人

(3) 課外活動の支援

コロナ禍の影響により、学生の課外活動は学長が認めた団体のみ活動が可能となった。学園祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため模擬店販売を中止とし、対面で1日のみ実施。翌日には学生たちの課外活動や、学園祭の様子を動画にまとめた、「オンラインときわ祭」を配信した。

(4) キャリア支援プログラムの充実

① 1・2年次のインターンシップ参加促進

- ・低学年向けインターンシップガイダンス動画の配信

「大学1・2年次向けインターンシップ講座」の動画を作成し「2021年度1・2年次向けキャリアガイダンス」から配信した。

- ・低学年向けインターンシップ情報の配信

NP0法人雇用人材協会およびリクナビのインターンシップ情報をグーグルクラスルーム「2021年1・2年次向けキャリアガイダンス」から配信した。

② 1・2年次向け就職支援プログラムの充実（eラーニング教材「竹びとSPI」の積極的な活用、「竹びとSPI 模試」の利用促進を含む）

- ・eラーニング教材「竹びとSPI」の利用促進

「竹びとSPI」（オンライン）による模擬試験（3年次対象）を、「竹びとSPI」の「テストセンター・固定1」を使用して実施した。また、「竹びとSPI」の説明と使用方法についての資料を、グーグルクラスルーム「23卒向けキャリアガイダンス（人間科学部・総合政策学部）」に掲載し、利用を促した。

項目	目標	2021年度実績
退学率	2%以下	2.8%
課外活動加入率	35%以上	39.4%
就職率	98%以上	97.5%
公務員合格者数（教員除く）	30人以上	29人
情報メディアセンター（図書館）の利用者数（平日夜間・土曜日）（大学・短期大学合計）	平日夜間80人以上／日 土曜日150人以上／日	平日夜間46.1人／日 土曜日107.4／日 ※ 平日夜間は19:30まで開館
貸出冊数〔大学・短期大学（教員・学生）合計〕	年間5冊以上／人	8.15冊／人 (学生7.3冊, 教職員22.5冊)

3 地域連携・国際交流

(1) 地域における課題の解決のための取り組み

① 地域の自治体、産業界との連携

- ・水戸ホーリーホックとの応援デー開催
- ・教員の自治体、企業への委員、講師派遣

自治体（茨城県、水戸市、笠間市、那珂市、日立市、行方市、小美玉市、東海村、つくば市、鹿嶋市、豊島区）教育機関（茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校）企業、団体（茨城県鹿行生涯学習センター、茨城県県北生涯学習センター、茨城県産業教育振興会、練馬区保育園長会、茨城県薬剤師会、茨城県国際交流協会、秋田生徒指導研究会、水戸ホーリーホック、社会福祉法人同仁会同仁会子どもホーム、日立市らぼーる協会、水戸市消防本部、茨城県図書館協会、茨城県消防長会、水戸観光コンベンション協会、水戸市消費者生活センター、茨城労働局、那珂市議会、渋谷区保健所）

- ・学生のボランティア派遣

那珂市心の教室相談員、ひたちなか市立学童クラブ有償ボランティア、水戸市社会福祉協議会こどもの学習支援事業「すてっぷ赤塚」「すてっぷ浜田」「すてっぷ末広」、日立市立小・中・特別支

援学校有償ボランティア，茨城県立歴史館ボランティア，水戸市市民税・県民税申告会場運営補助

- ・学生による地域連携活動
  - 〔茨城県〕 いばらきの地魚プロジェクト，茨城県警察大学生サポーター，いばらき自民党政務調査会「ケアラー支援に係る勉強会」〔水戸市〕水戸市行政懇談会（若い世代への広報について），50%糖質カットスイーツ「常磐トツツォ」販売〔笠間市〕カサマノシネマプロジェクト，道の駅かさまとの連携活動（かさまの逸品弁当開発プロジェクト）〔那珂市〕商工観光課・地域おこし協力隊との連携活動（那珂市を学ぶ）〔常陸太田市〕常陸太田市総合計画まちづくり懇談会委員〔城里町〕城里町役場・水戸桜ノ牧高等学校常北校との高大連携，城里町開発公社との連携活動〔筑西市〕ちくせい若者まちづくり会議

- ・講演会

- 「SDGs 誕生の舞台裏」（茨城県議会連携講演会）

- ② 「いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム」との連携

- いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム企画会議，いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム総会を実施した。

- ③ 社会安全政策研究所等による地域課題の解決に向けた教育研究の推進

- 第4回茨城社会安全研究会オンラインシンポジウム（水戸市長，常総市長，つくば市長）「コロナウイルス対策のこれまでとこれから」を開催した。

(2) 海外研修・交換留学プログラムの充実

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け，多くのプログラムが中止となるなか，実施可能なオンライン交流会等に注力して推進を図った。

- ・海外研修プログラム

- 既存のプログラムが中止となり，看護学部「海外看護研修」も中止となった。

- ・交換留学制度

- 当制度による派遣留学生として，韓国のみ3人派遣。受入は，オンラインでの授業履修により台湾より1人（1年間）。

- ・協定校からの短期研修受入

- 協定校の短期研修がすべて中止，受入も行われなかった。

- ・官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム

- 第12期（2020年度後期）採用学生1人および第14期（2021年度後期）採用学生2人が，2022年度秋セメスター期間中に留学を延期。

- ・韓国教育部国立国際教育院主催「日韓共同高等教育留学生交流事業」

- 韓国の協定校である大邱カトリック大学を通して，韓国教育部国立国際教育院が主催する「日韓共同高等教育留学生交流事業」（学部課程1年）奨学生に採用された学生1人が，2021年度1年間大邱カトリック大学に留学した。

- ・日本学生支援機構「海外留学支援制度（協定派遣）」

- 日本学生支援機構による「海外留学支援制度（2022年度）」に，本学の交換留学制度に係る2つのプログラムを申請し，協定派遣に係るプログラムのみが継続採択された。

- ・協定校学生とのオンラインによる交流

- アメリカ，韓国，タイ，台湾，カナダおよびベトナムの協定校とオンライン交流会を実施した。国際交流会館の寮生については，過去の留学生と交流会を行った。

項目	目標	2021年度実績
地域連携活動数（大学・短期大学合計）	20件	16件
オープンカレッジ参加者数 （大学・短期大学合計）	120人	87人
地域への委員等派遣数	20件	58件
留学派遣者数（交換留学／短期研修）	63人（8人／55人）	3人（3人／0人）
留学受入者数（交換留学／短期研修）	7人（7人／0人）	1人（1人／0人）
国際関連イベント参加者数	170人	オンライン会話交流会 196人（アメリ

		カ 44 人, 韓国 63 人, タイ 24 人, 台湾 17 人, カナダ 13 人, ベトナム 19 人, 国際交流会館寮生 16 人) ・ 留学報告会(TOKIWA Chart Room オンライン視聴含む) 192 人 合計 388 人
--	--	---

#### 4 入試広報

##### (1) 広報活動の充実

全学広報委員会において、学生募集に関する広報活動の基本方針を審議し、この方針に沿って学生募集の企画を検討、様々な広報活動を展開した。また、前年度入試結果データと受験生の志望動向の分析結果を基に、学長、副学長および学部長を対象とした入試・広報関係報告会を5回実施し、広報戦略の見直しならびに学生受け入れの際の一助とした。

##### ・オープンキャンパス

コロナ禍の影響により、8月の来校型は中止したが、同月にLIVE配信のオンラインオープンキャンパスを実施。他の月では、感染対策を十分に行った上で、事前予約定員制による来校型で実施した。

##### ・高校訪問

コロナ禍の影響により、実施は限定的であった。また、高校教員対象の大学説明会を5月下旬に来校型で実施し、入試の現況など直接説明を行う機会を設けた。

##### ・ホームページの充実

前年度に引き続き受験生応援サイト内にWEBオープンキャンパスページを展開し、受験生への広報を展開した。キャンパス紹介を目的とした360°VRキャンパスや学科紹介、入試説明の動画を作成し、通年で掲載した。また、WEB広告と併せることで、ページへの積極的な誘導を図った。

##### (2) 常磐大学高等学校および智学館中等教育学校との連携強化

本学への理解を深め、志願者増を目的として、前年度に引き続き、模擬授業、模擬面接、大学説明等を計画。次の取り組みを実施した。・大学特別講座（高校/2021年度新規、2年生文系希望者200人程度を対象）、・模擬面接、面接マナー講座（高校・智学館）、・大学説明会（高校/保護者会時およびPTA主催大学見学）。また、法人内の学校間連携を強化するための協議会において、入試広報に関する事項についての情報交換を定期的に行った。

##### (3) 入試制度の一部変更

大学入試委員会において、各入試制度実施後に改善点等を確認し、次年度入試実施に向け検討した。当該年度の入試実施については、受験することができない場合の志願者の受験機会の確保のために、予め追試験の設定を行った。コロナ禍の影響で、総合型選抜Ⅰ期およびⅡ期の事前相談については、Zoomを使い遠隔で行った。面接試験等においては、すべての入試において来場形式で実施をすることができた。2023年度入試に向けて検討し、次の変更を行うこととした。・総合型選抜Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期について事前相談時必要書類と出願時提出書類の変更、・総合型選抜（課外活動）の練習会参加申込期間の変更、・学校推薦型選抜（学園内）の出願資格（基準点）の設定、・編入学入試の健康栄養学科の募集を廃止

項目	目標	2021年度実績
志願者数	2,000人	1,990人
入学定員充足率	100%	109.6%
オープンキャンパス参加者数(大学・短期大学合計)	3,000人	2,363人
HPアクセス件数(大学・短期大学合計)	1,000,000件	1,046,116件
学校説明会接触者数(大学・短期大学合計)	2,500件	4,285件
資料請求者数(大学・短期大学合計)	20,000件	21,499件
特別講座実施回数(大学・短期大学合計)	70件	41件

#### 5 施設設備

##### (1) 安全安心な環境の維持

- ① キャンパスの環境整備（空調設備更新(T棟地下2階・地下1階), 屋上防水工事(U棟2階・T棟)トイレ改修(D棟3階・Q棟2階), 駐車場補修工事)

学生および教職員にとって、より良い教育・研究環境を実現するためにキャンパスの各環境整備を実施した。

- ・H棟内装改修工事：開学以来39年が経過し経年劣化したH棟の内装改修工事
- ・T棟空調設備更新工事：経年劣化した各階の空調機のうち、地下2階・地下1階の更新工事
- ・屋上防水工事：建物の維持保全のため、U棟・T棟の屋上防水工事
- ・トイレ改修工事：Q棟2階トイレの温水洗浄便座化改修工事
- ・駐車場補修工事：学生用駐車場(第3・4・8駐車場)の不陸整正等修繕工事

(2) 省エネルギーおよび環境保護の取り組み

① L棟食堂照明のLED化

省エネルギーおよび環境保全の取り組みとして、L棟学生食堂照明のLED化工事を実施した。

項目	目標	2021年度実績
整備計画実行率	100%	100%

【常磐短期大学】

＜アドミッション・ポリシー＞

本学の教育理念、教育の目的等を理解し、社会や地域に貢献する意欲のある次の人を、多様な入試制度により求めます。

1. 高等学校等の教育で身につけてきた学力を基礎にして、社会の発展のために学理に基づいた高度な知識の獲得と技能の習得を目標とする人。(知識・技能)
2. 人間として自ら真摯に生きる目的を考え、その実現に向けての取り組みを、的確に他者へ伝えられる人。(思考力・判断力・表現力)
3. 職業を通じた自立的な生き方や幼児教育・保育に関する様々な問題に関して人間性豊かに、創造的に取り組む意欲をもつ人。(主体性・多様性・協働性)

＜カリキュラム・ポリシー＞

本学の建学の精神及び学則に示された教育理念・教育の目的等に基づき、学科授業科目による教育課程を編成し、実施します。

1. 短期大学士として求められるキャリア教養学科と幼児教育保育学科共通の教養科目を含む学科授業科目。
2. 学理に基づく高度な知識と実践的スキルとを習得できる学習プロセス。
3. 豊かな人間性を涵養し環境に順応できる人材を育成するための適切な教育方法。

＜ディプロマ・ポリシー＞

本学の建学の精神および学則に示された教育理念・教育の目的等に基づき、短期大学士としての広く深い教養と専門知識を基礎として、さらに専門性と創造性を高め、人格を磨いていくことができる学生を社会に送り出します。

1. 共通の教養科目を含むキャリア教養学科と幼児教育保育学科、それぞれの授業科目からなる学修を通じて、卒業後も自らの資質を向上させながら、社会的及び職業的自立を図るための基礎的能力を身につけた学生。(知識・技能、汎用的能力、態度・志向性)
2. 質の高い実践力と責任意識をそなえ、豊かな人間性をもった、創造的で常に成長する学生。(汎用的能力、態度・志向性)
3. グローバル化の中で展開する知識基盤社会において、その問題を捉え、問題の解決に真摯に取り組むことができる情報能力と国際的感覚をそなえた学生。(汎用的能力、態度・志向性)

1 教育研究

(1) 国際化・グローバル化への対応のための教育の充実

① 英語を中心とした外国語教育の充実

従前よりイギリスにおいて実施していた「国際文化研修」については、2020年度から、研修先をオーストラリアに変更するとともに、正課の学修と関連性の高い海外研修プログラムに刷新の上、実施する計画としていたが、2021年度においても、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み中止した。

- ② 国際交流語学学習センターにおける語学学習支援の充実  
 ・Talk Time ・Tokiwa English Award 【大学に記載】

(2) 教学マネジメントの確立

① 内部質保証システムの恒常化および実質化

短期大学全体および各学科において点検・評価活動に取り組んだ。具体的には、建学の精神と教育の効果、教育課程と学生支援、教育資源と財的資源、リーダーシップとガバナンス等の項目別に当年度の行動計画を策定し、適時対応状況を確認するとともに、改善策を検討した。

② 適切な教育プログラムの編成・実施

各学科が掲げる DP および CP 等を踏まえ、「取得可能な免許」「取得可能な資格」および「目指す資格・検定」について、教育課程との相当関係、社会的通用性や有用性、学生募集上の効果などの観点から、点検および見直しを行った。また、この見直しの結果および 2021 年度第 2 回理事会（2021 年 5 月 27 日開催）議事第 6 号「学校法人常磐大学の将来計画に関する件」における承認事項等を踏まえ、より適切に教育プログラムを編成するため、幼児教育保育学科のカリキュラムを一部変更した。このほか、上記①における点検・評価活動の結果等を踏まえ、機関レベルおよび授業科目レベルでルーブリックとシラバス整備の一貫性を補強し、より適切に教育プログラムを実施するため、評価ルーブリックについては、科目ごとに評価の観点を示すことで学修成果の可視化に結び付けるとともに、単位修得状況振り返りにおいて、履修状況分析・評価に基づく翌年度シラバスへの修正予定が分かるよう改善した。

③ 教職員の資質向上

学内教職員からの発表等を通じて、主に教育内容や方法の改善に関わる情報の共有、認識の確立等を図ることを目的として、「FD 研究会」を開催した。テーマは「認証評価『第 3 期』から『第 4 期』へ向けた予備運動のために」である。また、同研究会の内容と連動させて、短期大学設置基準第 35 条の 3（研修の機会等）の規定に基づく「SD 研修会」を開催し、具体的な作業を通して、重要事項等の確認を行った。このほか、単位修得状況の分析については、DP と CP の一貫性を補強するため、成績評価指標の精度を上げながら、機関レベルおよび授業科目レベルでの運用に位置づけていくこととし、「FD 研修会」等において、科目レベルでの到達目標の再検討や課題の設定方法を討議・検討するなど、教育の質的向上に取り組んだ。

(3) 教育研究活動の活性化に向けた外部資金獲得

科学研究費助成事業については、制度等説明会の開催、個別相談等を通じて、申請の支援および奨励等に取り組んだ。学内研究助成では、研究代表者として科学研究費助成事業へ申請し不採択となった研究で、次年度に同様の申請を行う研究を支援するための研究種目（特別奨励研究助成）を設けている。

項目	目標	2021 年度実績
語学学習支援企画への参加者数	7 人	Drop-in Lab 6 人
語学試験合格者数	6 人	Tokiwa English Award 受賞者 2 人 (ゴールド賞 2 人)
外部資金獲得額 (大学・短期大学合計)	大学に記載	大学に記載
科研費獲得件数	4 件	4 件
FD 活動参加率	95%以上	90.9%

2 学生支援

(1) 学生生活満足度調査の結果公表と改善 【大学に記載】

(2) 学修支援体制の充実

① 「入学前教育の取り組み」、「基礎学力補完のための取り組み」および「正課の授業科目の教育内容」等の連携

入学前教育の「短期大学共通課題」について、入学時に所定の基準に到達していない者に対しては、入学後も継続して個別指導等に取り組み、その達成を支援した。また、基礎学力補完および就職試験対策に関わる e ラーニング教材「竹びと SPI」については、関連する授業科目において解説を行い、

積極的な利用を促すとともに、一部の授業科目においては課題とするなど、正課の授業科目の教育内容との連携を図った。

②「高等教育の修学支援新制度」の円滑な運用

学内の各種奨学金と日本学生支援機構奨学金を学生に案内するとともに、国の「高等教育の修学支援新制度」および新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「学びの継続のための『学生支援緊急給付金』」に対応した。「高等教育の修学支援新制度」採用者数：48人（内、新規採用者数：31人）、「学びの継続のための『学生支援緊急給付金』」採用者数：4人

(3) 課外活動の支援

課外活動加入者は16人に留まり、学生全体に占める割合は4%であった。

(4) キャリア支援プログラムの充実

① 1年次のインターンシップ参加促進

インターンシップに関する情報を、随時、メール配信および掲示により周知し、参加を促した。併せて、就職支援プログラムとして「インターンシップ対策講座（対面）」・「インターンシップマナー講座（対面および動画配信）」・「秋冬インターンシップ講座（WEB）」を実施し、インターンシップ参加方法や情報の探し方、選考に対する準備等の解説を行った。

② 短大生向け就職支援プログラムの充実（eラーニング教材「竹びとSPI」の積極的な活用、「竹びとSPI模試」の利用促進を含む）

「竹びとSPI」（オンライン）による模擬試験（1年次対象。幼児教育保育学科は希望者のみ）を、「竹びとSPI」の「テストセンター・固定1」を使用して実施した。キャリア教養学科では、模擬試験の実施を「キャリア形成演習Ⅱ」の中で学生に周知し、受験を促した。さらに、春semesterに実施した「キャリア形成演習Ⅰ」の夏季休業中の課題として「竹びとSPI」に取り組みせ、「キャリア形成演習Ⅱ」で達成状況を確認した。

項目	目標	2021年度実績
退学率	2%以下	4.5%
就職率	98%以上	98.3%
公務員合格者数（教員含む）	6人	1人
情報メディアセンター（図書館）の利用者数（平日夜間・土曜日）（大学・短期大学合計）	大学に記載	大学に記載
貸出冊数（大学・短期大学（教員・学生）合計）	大学に記載	大学に記載

3 地域連携・国際交流

(1) 地域における課題の解決のための取り組み

① 地域の自治体、産業界との連携

- ・水戸ホーリーホックとの応援デー開催
- ・教員の自治体、企業への委員、講師派遣  
自治体（水戸市、那珂市、東海村）
- ・学生のボランティア派遣  
日立市立小・中・特別支援学校有償ボランティア
- ・学生による地域連携活動

〔笠間市〕道の駅かさまとの連携活動（子育て設備充実に関する意見交換会）

② 「いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム」との連携【大学に記載】

③ 社会安全政策研究所等による地域課題の解決に向けた教育研究の推進【大学に記載】

(2) 海外研修・交換留学プログラムの充実

・国際文化研修

オーストラリア研修を計画していたが中止となった。

・協定校学生とのオンラインによる交流【大学に記載】

項目	目標	2021年度実績
地域連携活動数（大学・短期大学合計）	大学に記載	大学に記載



オープンカレッジ参加者数 (大学・短期大学合計)	大学に記載	大学に記載
地域への委員等派遣数	3件	4件
留学派遣者数(短期研修)	4人	0人
国際関連イベント参加者数	16人	・オンライン会話交流会 8人(アメリカ 2人, 国際交流会館寮生 6人) ・留学報告会 1人(TOKIWA Chart Room オンライン視聴含む) 合計 9人

#### 4 入試広報

##### (1) 広報活動の充実

全学広報委員会において、学生募集に関する広報活動の基本方針を審議し、この方針に沿って学生募集の企画を検討、様々な広報活動を展開した。

##### ・オープンキャンパス

コロナ禍の影響により、8月の来校型は中止したが、同月にLIVE配信のオンラインオープンキャンパスを実施。他の月では、感染対策を十分に行った上で、事前予約定員制による来校型で実施した。

##### ・高校訪問

コロナ禍の影響により、限定的な実施となった。また、高校教員対象の大学説明会を5月下旬に来校型で実施し、入試の現況など直接説明を行う機会を設けた。

##### ・ホームページの充実

前年度に引き続き受験生応援サイト内にWEBオープンキャンパスページを展開し、受験生への広報を展開した。キャンパス紹介を目的とした360°VRキャンパスや学科紹介、入試説明の動画を作成し、通年で掲載した。また、WEB広告と併せることで、ページへの積極的な誘導を図った。

##### (2) 常磐大学高等学校および智学館中等教育学校との連携強化

本学への理解を深め、志願者増を目的として、前年度に引き続き、模擬授業、模擬面接、大学説明等を計画。次の取り組みを実施した。・大学特別講座(高校/2021年度新規, 2年生文系希望者200名程度を対象に実施)、・模擬面接、面接マナー講座(高校・智学館)、・大学説明会(高校/保護者会時およびPTA主催大学見学)。また、法人内の学校間連携を強化するための協議会において、入試広報に関する事項についての情報交換を定期的に行った。

##### (3) 入試制度の一部変更

入試委員会において、各入試制度実施後に改善点等を確認し、次年度入試実施に向け検討した。当該年度の入試実施については、受験することができない場合の志願者の受験機会の確保のために、予め追試験の設定を行った。コロナ禍ではあったが、すべての入試において来場形式で実施をすることができた。2023年度入試に向け検討し、次のとおり変更を行うこととした。・幼児教育保育学科の入学定員の見直しに基づき募集人員の見直し、・学校推薦型選抜(学園内)の出願資格(基準点)の設定

項目	目標	2021年度実績
志願者数	250人	187人
入学定員充足率	100%	70.8%
オープンキャンパス参加者数(大学・短期大学合計)	大学に記載	大学に記載
HPアクセス件数(大学・短期大学合計)	大学に記載	大学に記載
学校説明会接触者数(大学・短期大学合計)	大学に記載	大学に記載
資料請求者数(大学・短期大学合計)	大学に記載	大学に記載
特別講座実施回数(大学・短期大学合計)	大学に記載	大学に記載

#### 5 施設設備 [常磐大学との共通部分については、常磐大学に含めて記載]

##### (1) 安全安心な環境の維持

① キャンパスの環境整備

学生および教職員にとって、より良い教育・研究環境を実現するためにキャンパスの各環境整備を実施した。

- ・トイレ改修工事：D棟3階トイレの温水洗浄便座化改修工事

(2) 省エネルギーおよび環境保護の取り組み

- ・L棟食堂照明のLED化【大学に記載】

項目	目標	2021年度実績
整備計画実行率	100%	100%

【常磐大学高等学校】

1 教育・学習支援

(1) 確かな学力の育成

① 知的好奇心を高める学習習慣の定着化

・生徒の自宅学習の補助や弱点補強を目的として、オンライン学習サービスのスタディサプリを継続導入し、到達度テストなどと連動させて自らの課題に気づかせることで、学ぶ意欲を高めた。

② ICTツールを積極的に活用した課題に自律的に取り組む能力を高める

・新型コロナ感染症拡大による臨時休業中は、Zoomを用いた双方向のオンライン授業を行った。  
・アプリ活用のための教員研修等を行い、課題配信への工夫など授業の幅を広げる取り組みにつながった。生徒のiPadの活用は、徐々に浸透してきており、各種アプリも導入しながら学習支援に役立っている。

③ 得られた知識を他教科の授業や生活の中で活用できる能力を高める

・「情報モラル」を学ぶ公民の授業と、技術を学ぶ情報の授業とを関連づけて、様々なメディアが伝える情報を適切に判断できるような態度を身につけるとともに、社会の情報化による生活の変化に対して、法と個人の責任について学ばせる取り組みを行った。

④ 国際社会を生きる実践的英語力の向上

・2年次のオンライン英会話とGTEC受験を継続。特選コースのGTEC平均は昨年度よりスコアが109点(816.4・A2.2)、特進コースでは44点(596.7・A1.3)上昇した。オンライン授業を楽しんでいる生徒が増加している。  
・カナダ・ハリヤーエンリー高との「TOMODACHI」プロジェクトによるオンライン交流の場を設定した。双方の文化の違いや季節ごとのテーマを共有し英会話に楽しみながら取り組んだ。

(2) 「探究」を軸とした教育活動の推進

① 自ら問いを見出し、課題を解決する能力を高める

・特進選抜コースの個人課題研究報告会は、コースの在籍数(100人)が増えたことで活性化につながった。  
・特進コースの探究の時間では、発表・話し合い・ロールプレイングを取り入れたことによりコミュニケーション能力の向上を促した。

② ICTツールを活用できる能力の育成

・ICTの利点のひとつである協働学習を積極的に取り入れ、発表や話し合い、協働での意見調整に加えて、校内の壁を越えた企業訪問、大学特講などを行った。その取り組みにおいて情報の真偽判断力、他者との協働を通して情報を活用する力、情報モラル習得の意識を高めた。

(3) 3年間を見通した系統的な進路支援

① 進路指導計画(ロードマップ)による目標設定の明確化

・ロードマップにより計画した多くの行事は、オンラインでの開催となった。対面での活動は少なかったが、生徒が自分の将来を考えるきっかけとなることにはつながった。

② 多様な進路希望に対する適切な情報の提供

・自分の将来設計を考えて進路選択をする生徒が増えているため、より詳しい情報提供に努めた。担任や進路担当教員との面談の機会を更に密にして支援していく方策を今後も継続する。

③ 常磐大学・常磐短期大学との更なる連携の推進

- ・大学特別講座は、受講者を常磐大学・短期大学へ進学希望の生徒だけでなく、特進コース（文系）の生徒にも拡大した。また、講座前に大学教授と本校担当教員との打合せを重ねて、生徒が自分事として考えられるプログラムの構築につながるよう連携を深めた。

項目	目標	2021 年度実績
生徒授業アンケートでの肯定評価	90%以上	90.0%
常磐大学・短期大学進学率	30%以上	27.7%
大学入学共通テスト受験率	60%以上	25.5%
大学（短大含む）進学率	60%以上	79.7%
海外研修参加者数*実施可能な場合	50人以上	未実施

## 2 生徒支援

### (1) 総合的な「人間力（自己肯定感）」の育成

#### ① 自律した行動の基礎となる生活習慣の確立

・学期ごとの生活アンケートを実施して、生徒自身の生活習慣を確認させた。肯定的な回答をする生徒は95%（よかった62%，まあまあよかった34%）を超えており、コロナ禍においても規則正しく過ごそうとする意識を持つ生徒は多い。遅刻、欠席も少なく、あいさつをしっかりとするなどの基本的な行動ができる生徒を今後も育成していく。

#### ② 学習と部活動，行事を両立させる生徒の育成

・部活動加入率は70%台で推移しており、積極的な学校生活を送ろうとしている生徒が多い。カリキュラムについて、単位数を厳選し6限終了の曜日を増やすなど日課表を工夫することで、放課後時刻を早め部活動を支援している。時間管理を意識した行動を心がけさせて生活することを促した。

#### ③ 社会の一員になるための自覚と規範意識を身につける

・18歳成人を見据えた成人にふさわしい態度を育てるため、3年生に対して主権者教育，消費者教育を行い社会の常識に関心をもたせた。また各HRにおいて「成人」を考えるテーマ設定で発表・話し合い・ロールプレイングを取り入れた。

#### ④ 地域のボランティア活動等に参加する取り組みを促進

・コロナ禍により活動へは不参加。オンラインでのセミナー参加や学校周辺の清掃活動など、現状でできる取り組みを検討し、地域貢献につなげたい。

#### ⑤ 自ら体調管理ができる能力の向上

・毎日の健康観察と体温測定記録は継続中。保健部が発行する保健だよりや掲示物などから体調管理への意識を高めた。

項目	目標	2021 年度実績
各部活動のボランティア活動	生徒一人年1回以上	校外清掃活動・20件
部活動加入率	75%以上	71%
上位大会(関東・全国)出場件数	10件以上	14件

## 3 入試広報

### (1) 学校公開を積極的に行い、入学志願者の確保に努める

#### ① HP，SNS，広報媒体などを活用した、タイムリーな情報の発信

・制限された諸活動ではあったが、学校行事，部活動報告，オープンスクール，学校説明会，入試情報など、積極的に発信した。今後は更に、スピード感をもって発信できるよう取り組んでいく。

#### ② オープンスクール等でのスクールアンバサダーの活動の充実

・スクールアンバサダーの効果は、オープンスクールや学校説明会における参加者からのアンケート調査からも好評であることがうかがえた。更に工夫を加えて、生徒主体の学校であることを周知する。

### (2) 入試関連事務の合理化

#### ① WEB出願により、入試業務の負担を軽減

・WEB出願2年目になり、利用者（受験希望者，中学校教員など）の利便性は合理化された。入力データの二次的利用により、受験前の諸連絡や入学予定者への情報提供にも活用した。

項目	目標	2021 年度実績
オープンスクール参加者数	対前年比 105%	87%
受験者数	対前年比 100%	83%
HP (TOP ページ) の更新	月平均 40 回以上	月平均 14 回 (延べ 168 回)
HP アクセス件数	月間平均 35,000 件以上	27,680 件

#### 4 施設設備

##### (1) 環境充実のための施設整備, 配備

###### ① 本館空調機器更新工事 (第 1 期)

本館 2000 年竣工以来の経年劣化による空調設備の機器更新について, 2021~2023 年度の 3 カ年で入れ替える計画を策定し, 第 1 期として普通教室 (校舎東側部) を中心に整備を行った。

###### ② 本館・2 号館教育系無線 LAN 整備工事

ICT 教育推進のため, 本館および 2 号館の普通教室, 特別教室等 (職員室含む) の無線 LAN 環境の整備を行った。

###### ③ 教職員 PC の機器更新 (第 2 期)

ICT 教育推進等に活用する教職員 PC について, 2020 年度から 2 カ年で機器の更新を行う計画について, 2 期目 (32 台分) の整備を行った。

###### ④ 小吹キャンパス ソフトボール場フェンス嵩上げ工事

ソフトボール場周辺のフェンスにおいて, これまでの高さでは打球がネットを越えて隣接する智学館中等教育学校駐車場へ落下する恐れがあったため, 駐車車両の破損防止や歩行者の安全確保を目的として, 防球ネットの嵩上げ工事を行った。

項目	目標	2021 年度実績
整備 (工事) 計画実行率	100%	100%

### 【智学館中等教育学校】

#### 1 教育・学習支援

##### (1) 2022 年度の新学習指導要領実施に向けた教育課程の変更

「教育課程編成委員会」で検討してきた新学習指導要領が次年度より年次進行で導入されることを受けて, 生徒・保護者への説明を行った。新 4 年次では, 理科の選択が, より生徒の実情に合ったものとなる。また, 大きく変わる国語と社会においても生徒の進路希望等を考慮に入れ, さらに大学入試センターからの「共通テスト」における「数学②」の試験範囲の発表に伴い, 6 年次で理科系の生徒はもちろん国立大学を目指す文科系の生徒にも「数学 C」を選択可能とした。生徒一人ひとりの進路実現に向けたより良い選択が可能となっている。

##### (2) 習熟度別授業を継続し, 個々の学力推移を分析することで一人ひとりの学力向上を図る

国語・数学・英語の授業は, 習熟度別のクラスに 2~3 分割し, 個々の生徒に対して最適なレベルで授業を展開している。習熟度別編成は, 学期毎に, 定期考査や校外模擬試験データを用いて行った。また, 校外模擬試験のデータは, 統合・視覚化することで, 全教員で共有し, 生徒一人ひとりの学力推移を意識した指導を実施した。さらに, これからの生徒達に必要な問題解決能力・論理的思考力を計ることができる「AiGrow」を導入した。

##### (3) 現状を踏まえた 6 年間の研修旅行の検討

2019 年度より, 各年次での研修旅行を段階的に変更してきたが, 3 年次での実施へと変更した「英国海外研修旅行」と 5 年次で実施する計画であった「アジア研修旅行」については, 新型コロナウイルス感染等の状況を鑑み, 3 年次での「国内研修旅行」, 5 年次での「英国海外研修旅行」とした。また, 今年度の研修旅行については, 3・4・5 年次生すべて, 福島・栃木方面への国内研修旅行に切り替え, 3 月に実施した。

##### (4) ICT 機器を取り入れた授業の研修と実践および遠隔授業への対応と研究

2021 年度には, 本来予定していた 1・4 年次に加え, 3 年次でも Chromebook の導入を行った。これにより, 6 年次を除く全年次で Chromebook の導入となり, 休校期間においても Google meet での

双方向遠隔授業が実施可能となった。また、感染症への不安などから登校を控える生徒に対しても、オンラインでの授業や面談を行った。

(5) ユネスコスクールを通じた海外校との交流

昨年度に引き続き、ユネスコスクール事務局から紹介いただいた海外2校との交流を実施した。3年次では、韓国にある Sungduk Middle School と、4年次では、バングラデシュにある Tejgaon Government Girls' High School との交流を行った。両校とも Zoom での交流会となった。韓国の学校とは、お互いの文化や地域の説明、日常生活に関する質疑応答を、バングラデシュの学校とは、最初であるため、お互いの学校や、地域の文化の紹介等を行った。

(6) SDGs の理念を取り入れた探究活動を継続する中で、検証と改善に努める

SDGs の理念を取り入れた探究学習では、問題発見・解決能力の育成を中心に、論理的思考力や創造的思考力、情報収集・整理・分析能力の習得・向上をねらいとして発達段階に応じた活動の「智学館スタイル」が確立した。1年次では、前半は、思考力育成、質問づくりトレーニング、自由研究、自由研究発表会、後半は「ラベル・マークから見た世界」をテーマとした SDGs 探究を行い、探究の一連の流れを身につけさせた。2・3年次では、水戸ユネスコ協会の指導を仰ぎ、梅染実験を行った。毎年偕楽園で剪定後に廃棄・焼却されてしまう梅の木の枝を活用して地元の新たな魅力を創造する活動を地域社会と連携して実践した。3月には茨城新聞社「みとまち情報館」で生徒作品の展示を行った。4・5年次では、自分の関心のある分野や外部コンテスト・コンクールへの応募など、自身の将来へつなげるという活動を展開。これまで培ってきた探究手法に則って取り組んだ。入賞には至らなかったが、このことにより各自が進路実現への可能性を高めることができた。

また、年度末には、表現・発表スキルの向上を企図し、生徒全員が自分の関心や社会的課題などについて探究した成果を報告する探究学習発表会（PBL Day）を実施した。

項目	目標	2021 年度実績
校外模擬試験における偏差値の上昇数	5 ポイントアップ	0.72 ポイントアップ
総授業時間における ICT 活用率	50%以上	51.4%

## 2 生徒支援

(1) 生徒会活動の活発化への支援

特別活動部を中心として自主的活動への支援を行った。生徒会主催の行事である「智学館フェスティバル」や「卒業生を送る会」等を、感染対策を充分に行いながら実施した。また、例年発行している生徒会誌「けやきの記」の発行や毎月クラス毎に集めているベルマークの回収、集計、さらに、オープンスクールにおいては、動画による生徒会長挨拶を行った。これらの企画運営によって生徒たちの自治活動はもちろん、社会性なども身につけさせることができた。なお、昨年度より生徒会が発信している Instagram での情報発信回数は 30 回であった。

(2) 各種ボランティア活動参加への支援

1月の水戸市中学生交流会に参加し、「SDGsについて今できること」について市内の中学校と交流を図った。また、2022年1月に起きた「トンガ沖大規模噴火」に対して被害に対する募金活動を実施し、水戸市福祉総務課を通じて日本赤十字社へ寄付を行った。その他、例年参加している各種行事については、すべて中止となった。

(3) 教育振興会活動の活発化と連携の強化

保護者総会・教育振興会総会については、新型コロナウイルス感染拡大のため中止とし、書面でのやり取りを行った。また、学校行事等にも保護者の参加・見学を取りやめたが、11月の授業参観は、感染対策を徹底することで、3日間実施し、前年度とほぼ同数の保護者の参加があった。

今後は、振興会と積極的に連絡を取り合い、現状を把握し、より活発な活動につなげていきたい。

(4) 発達段階に応じた各種講演会の実施

発達段階に応じて講演会を実施した。進路関係については、前期課程生に、水戸ホーリーホックによるキャリア講座、日本農業実践学園での3年次対象の職業体験を行った。また3年次生には、後期課程への進級に向けて進路講演会を実施。後期課程生に対しては、年4回の進路講演会と4年次生対象のジェトロ茨城による早期キャリア講座を実施した。これらの講演会等を通して、各自の

将来や職業観を養うことができた。生徒指導関連としては、日本自動車連盟茨城による「自転車の安全な利用法」と題した交通安全講習を行った。6年次生には、成人年齢引き下げと消費者の危険性について、消費生活センター作成のDVDを視聴して行った。

さらに、保健安全部による指導として、1・2年次生対象の「カウンセリング教室」、3年次生対象の「思春期講座」、4・5年次生対象の臓器移植に関する「いのちの学習会」、6年次生対象「薬物乱用防止教室」を行った。これらの講演会を通して、進路・生徒指導・保健安全について、発達段階に応じた適切な指導を行うことができた。

項目	目標	2021年度実績
県大会上位進出および関東大会出場	4件/1件	2件/1件 県上位2件（演劇部・合唱部）/関東大会出場1件（合唱部）
ボランティア参加者率	50%以上	実施なし
薬物、交通、消費者、メディア等講演会	5回	5回

### 3 入試広報

#### (1) 県立中学校受験者に対する、本校受験に向けての広報活動の充実

理事会での「本校の2023年度からの募集停止」の決定を受けての広報活動となった。6月早々に学校長自ら大手学習塾を訪問し、「2022年度入学生に対してもこれまで通り6年間しっかりと教育活動を実施していく」ことの説明を行うとともに、「今後は高校受験可へと方針変更した」事について理解をいただいた。7月には「小学6年生のみ限定」のオープンスクールを実施した。24組が参加し、大変好評であった。オープンスクール参加者に対するアンケートには、小学校で配布されたチラシを見て参加をしたとの回答が多くあり、これまでの小学校への訪問が功を奏していると感じた。進学フェアについては、7月に茨城県私学協会主催の「私学フェア」、9月にはNPO法人親子進路応援センター主催の「進学フェア」に参加し、学校方針等の説明を行った。

#### (2) HPやSNSを通じた、教育活動内容の発信

SNSでの情報発信を積極的に行った。内容については、学校での生徒たちの活動や日々の行事・日常の様子等、楽しく生き生きと生活をしている事が感じられるように努めた。4月から3月末までの記事アップ回数はFacebookが136回、Instagramは83回であった。特にFBでの発信については、目標の「3日に1度」を実現できた。また、昨年度より生徒会によるInstagramの発信を、週1回のペースで行った。今後も生徒達の活動の様子を発信し続けていきたい。

#### (3) 天体観測会の実施

本校への興味関心を深めるとともに、社会貢献活動の一つとして「天体観測会」を開催した。参加した児童の様子を見ると、保護者も含めて大変満足をしてくれたようである。天体観測会に参加した後、オープンスクールには参加せず個別相談を経て3組の児童が本校へ入学を決定した。なお、観測会では「ミニ講座」も実施しており、理科教員のみならず、国語科・社会科・数学科の教員が担当するなど、学校をあげての行事となっている。

項目	目標	2021年度実績
志願者数	80人以上	52人
入学者数	30人	23人
オープンスクール参加者数	延べ200人	24人（小学6年生のみに限定）
HPアクセス件数	月平均5,000件以上	月平均約4,400件
天体観測会実施回数	12日/年	6回/年（12月～2月中止）

### 4 施設設備

#### (1) 全域的なWi-Fi環境整備およびICT教育機器の円滑な運用

第1期整備事業と合わせて、第2期整備事業として、校舎内全域的な無線LAN(Wi-Fi)環境整備が完了した。このことにより、校内全域で自由にインターネット接続が可能となり、各教室でのChromebookを用いた授業展開を円滑に実施することができた。また、感染症拡大による休校期間中においても、全クラスの授業を各担当教員がリアルタイムに配信を行った。

#### (2) CALLシステムリプレイスの実施

2015年度に導入したCALLシステムについて、老朽化に伴いプレイスを実施した。英語科および情報科における今後の授業展開を見据えた構成に刷新し、保守やサポートを含め、安定して稼働するシステムを構築した。

項目	目標	2021年度実績
Wi-Fi 環境整備	校内全域	校内全域

## 【常磐大学幼稚園】

### 1 教育

#### (1) 遊びの中での学びの創出と、個々の自己課題達成に向けた取り組みの構築

年度当初に一人ひとりのねらいを定め、日々、経過を振り返りながら、その子に不足しがちな活動を取り入れ、自然な流れで学びが重なり合えるよう環境を整えることに努めた。

#### (2) 子どもの育ちを中心に据えた活動と行事内容の充実

子どもたちが展開する自ら選び取った遊びが十分できる時間の保障に努め、「楽しさ」が先行する行事内容の実践にあたった。

項目	目標	2021年度実績
「わくわくチャレンジ」開講回数	67回	60回

### 2 広報

#### (1) 活動内容を含む情報発信の充実（HP、ポスターなどの活用）

こまめな活動写真のアップと併せてFacebookによる情報発信を心がけた。また、教員が手分けをし、集合住宅や新興住宅、公共の子育て支援施設を中心にチラシを配布し、より多くの情報伝達に努めた。

#### (2) 入園希望見学者の積極的な受け入れと細やかな対応の実践

今年度は見学者が例年より少なかったが、受けた際はいろいろな質問に対して資料等を見せながらより具体的にイメージし、入園を考えてもらえるよう対応を強化した。

項目	目標	2021年度実績
入園定員充足率	100%	86%

### 3 施設設備

#### (1) 教育環境の整備

##### ① 保育室照明のLED化（まつの子ぐみ）

経年劣化した各保育室の照明器具のうち、まつの子ぐみの更新工事を実施する予定であったが、他の緊急を要する修繕を実施したため、次年度に更新することとなった。

##### ② 保育室、天井クロス修繕工事（まつの子ぐみ）

経年劣化した各保育室の壁紙クロスのうち、まつの子ぐみの更新工事を実施した。

##### ③ 保育室床修繕工事（2階多目的室、廊下本棚廻り、1階ホール本棚廻り）

経年劣化した2階多目的室、廊下本棚廻り、1階ホール本棚廻りの床タイルカーペットの更新工事を実施した。

##### ④ 遊具更新（二人乗り用三輪車）

株式会社タカ様より、寄贈サービス付SDGs 私募債『地域の未来応援債』（筑波銀行が、私募債発行企業と協力して、私募債発行手数料を地域の学校等に寄付または寄贈するもの）を活用して、遊具（二人乗り用三輪車含む）や教具等の寄贈を受けた。

##### ⑤ 印刷機・複合機更新

職員室内に設置する印刷機・複合機の更新を行った。

項目	目標	2021年度実績
整備計画実行率	100%	80%

(2) 2021 年度主要行事

月	事 項
4月	3日 大学・短期大学・大学院入学式, 7日 高等学校入学式, 8日 中等教育学校入学式, 9日 幼稚園入園式
5月	8日 中等教育学校授業参観・学級懇談会, 15日 高等学校PTA後援会総会(書面決議), 22日 大学・短期大学オープンキャンパス, 27日 第1回理事会, 第1回評議員会, 第2回理事会
6月	11日 中等教育学校Sports Day, 13日 大学・短期大学オープンキャンパス
7月	3・10日 中等教育学校個別相談会, 10日 大学院秋 semester 入学試験, 11日 大学・短期大学オープンキャンパス, 15日 第1回入園説明会・みんなで遊ぼう, 22~25日 高等学校オープンスクール, 31日 中等教育学校オープンスクール
8月	28日 大学・短期大学WEBオープンキャンパス, 常磐大学×水戸ホーリーホック応援デー, 30日~9月4日 大学・短期大学新型コロナワクチン職域接種(茨城大学連携)1回目
9月	1~30日 高等学校オンライン授業対応, 1~26日 中等教育学校オンライン授業対応, 11日 短期大学入学試験(総合型選抜セミナー型), 12日 大学入学試験(総合型選抜Ⅰ期, 課外活動Ⅰ期), 17日 幼稚園第1回入園説明会, 16・17日 大学・短期大学個別相談型オープンキャンパス, 20・21日 水戸市連携新型コロナワクチン接種1回目, 23日 大学入学試験(総合型選抜Ⅱ期, 編入学Ⅰ期), 30日 第2回評議員会, 第3回理事会, 27日~10月2日 大学・短期大学新型コロナワクチン職域接種(茨城大学連携)2回目
10月	2・3日 中等教育学校入試説明会, 10日 大学院人間科学研究科春 semester 入学Ⅰ期入学試験, 11・12日 水戸市連携新型コロナワクチン接種2回目, 14日 中等教育学校智学館フェスティバル, 16日 大学・短期大学ときわ祭, 16・17日 大学・短期大学個別相談型オープンキャンパス, 17日 高等学校第1回秋季学校説明会, 19日 幼稚園第2回入園説明会・みんなで遊ぼう, 23日 大学入学試験(総合型選抜Ⅱ期, 編入学Ⅰ期), 高等学校第2回秋季学校説明会, 25日 中等教育学校芸術鑑賞会, 26日 高等学校芸術鑑賞会, 29日 中等教育学校1・2年次筑波山登山, 30日 高等学校第3回秋季学校説明会
11月	1日 幼稚園願書受付・入園考査・内定発表(1号認定児), 12日 中等教育学校Walking Day, 20日 短期大学入学試験(公募制・指定校), 高等学校学年懇談会(1学年), 21日 大学入学試験(公募制・指定校), 中等教育学校第1回入学試験, 25日 第3回評議員会, 第4回理事会, 26日 大学院看護学研究科入学試験
12月	4日 幼稚園発表会, 11日 大学入学試験(総合型選抜Ⅲ期, 課外活動Ⅱ期, 卒業生推薦, 社会人), 短期大学入学試験(総合型選抜Ⅰ期, 卒業生推薦, 社会人), 中等教育学校English Day, 22日 幼稚園第1回新入園児保護者説明会,
1月	9日 高等学校入学試験(推薦), 15日 高等学校入学試験(一般), 15・16日 大学入学共通テスト, 23日 中等教育学校第2回入学試験, 27日 第4回評議員会, 第5回理事会
2月	3日 大学入学試験(一般入試Ⅰ期, 外国人留学生, 帰国子女), 7日 短期大学入学試験(一般), 12日 大学院人間科学研究科春 semester 入学Ⅱ期入学試験, 中等教育学校第1回入学予定者準備会, 24日 中等教育学校合唱コンクール(前期課程)
3月	1日 高等学校卒業式, 2日 中等教育学校卒業証書授与式, 4日 大学入学試験(一般入試Ⅱ期・編入学入試Ⅱ期), 11日 大学入学試験(学内Ⅱ期), 短期大学入学試験(総合型選抜Ⅱ期), 16日 幼稚園卒園式, 17~19日 中等教育学校3・4・5年次国内研修旅行, 20日 大学・短期大学卒業式・大学院学位授与式, 21日 大学・短期大学オープンキャンパス, 22日 幼稚園第2回新入園児保護者説明会, 24日 第5回評議員会, 第6回理事会



### 3 財務の概要

#### (1) 事業活動収支計算書関係比率 【法人】

	比率	算式(*100)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	60.6	61.7	58.3	55.6	55.5
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	80.8	83.2	75.1	73.3	73.1
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	34.2	31.4	31.0	36.1	31.1
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	10.0	8.7	8.4	7.4	6.9
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	-5.1	-1.8	2.1	1.4	6.6
7	事業活動収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	105.1	101.8	97.9	98.6	93.4
8	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$	113.0	109.9	107.3	103.1	98.9
9	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	75.1	74.2	77.7	75.8	75.9
10	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
11	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2
12	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	18.1	17.6	17.1	19.4	18.5
13	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	18.1	17.7	17.1	19.0	18.5
14	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	7.0	7.3	8.7	4.3	5.6
15	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	11.2	10.6	11.0	9.8	9.8
16	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-4.9	-1.9	2.1	0.8	6.4
17	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-4.9	-1.9	2.1	0.8	6.4

#### (1) - 1 事業活動収支計算書関係比率 【大学】

	比率	算式(*100)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	59.0	57.9	51.2	48.2	47.1
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	69.6	69.8	58.3	56.9	55.6
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	34.1	29.9	29.4	34.2	29.3
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	9.6	9.0	8.5	7.0	6.4
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	-2.9	3.1	10.5	11.0	17.1
7	事業活動収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	102.9	96.9	89.5	89.0	82.9
8	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$	110.0	104.5	99.5	92.5	86.5
9	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	84.7	82.9	87.9	84.7	84.6
10	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
11	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
12	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	8.5	8.0	7.3	11.3	10.2
13	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	8.5	8.0	7.3	10.8	10.2
14	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	6.5	7.3	10.1	3.8	4.1
15	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	9.6	9.0	9.7	8.5	8.3
16	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-2.8	3.2	10.7	10.5	17.0
17	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-2.8	3.2	10.7	10.5	17.0

## (1) -2 事業活動収支計算書関係比率 【短期大学】

	比率	算式(*100)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	54.7	58.2	59.4	55.8	58.8
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	65.4	70.5	69.8	68.1	70.5
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	27.6	27.1	25.8	32.2	29.6
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	10.9	10.0	10.0	9.6	9.6
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	4.2	4.5	5.4	3.0	2.0
7	事業活動収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	95.8	95.5	94.6	97.0	98.0
8	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	114.0	118.6	116.2	117.4	121.7
9	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	83.6	82.5	85.1	82.0	83.4
10	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0
11	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	9.7	10.2	8.6	11.6	12.9
13	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	9.7	10.2	8.7	11.1	12.9
14	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	16.0	19.5	18.6	17.4	19.5
15	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	10.4	10.1	10.3	9.3	9.3
16	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	6.8	4.8	4.8	2.4	2.0
17	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	6.7	4.7	4.8	2.4	2.0

## (2) 貸借対照表関係比率 【法人】

	比率	算式(*100)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	77.7	77.4	77.6	76.8	74.9
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	22.3	22.6	22.4	23.2	25.1
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	2.7	2.7	2.8	2.9	3.0
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	3.9	4.4	3.6	3.4	3.4
5	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	93.4	92.8	93.6	93.7	93.6
6	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	-39.5	-41.3	-42.7	-43.3	-42.4
7	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	83.2	83.3	83.0	82.0	80.1
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}+\text{固定負債}}$	80.8	81.0	80.5	79.5	77.6
9	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	572.2	509.9	620.0	681.9	738.9
10	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	6.6	7.2	6.4	6.3	6.4
11	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	7.1	7.7	6.9	6.8	6.8
12	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	699.0	629.6	647.9	719.6	774.6
13	退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	51.7	53.1	54.3	55.8	57.4
16	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	39.9	39.9	39.7	40.4	43.3

### (3) 経営上の成果と課題

2021年度決算における事業活動収支は、事業活動全体において事業活動収入計が62億5千万円、事業活動支出計が58億4千万円となり、事業活動収支差額（基本金組入前当年度収支差額）は、4億1千万円の収入超過となった。また、経常的な収支のバランス、経営の健全性を示す経常収支差額は4億円の収入超過、事業活動全体での収支均衡化、経営の永続性を示す当年度収支差額は6千万円の収入超過となった。最大の要因としては、主たる財源である学生生徒等納付金収入の改善による増収と、継続的に取り組んできた在籍者数に応じた予算配分と経費抑制のバランスを図れたことが挙げられる。学生生徒等納付金収入の改善による増収においては、看護学部の完成年度による学生数の増加や、人間科学部、総合政策学部を含めた大学全体での定員充足もあり、2020年度と比較して、1億6千万円の増収となっている。しかし学生生徒等納付金収入は、2021年度をピークに今後減少傾向となることが予想されるため、安定した財務基盤の維持を図る上でも、大学および各学校での継続的な学生生徒等の確保が必須であり、課題であると考えられる。今後の対応としては、継続的な学生生徒の確保を軸に教育環境の充実を図りつつ、経営の健全性、経営の永続性を担保していけるよう収支均衡化の維持に努めていく。

## 4 施設設備整備の概要

### (1) 施設設備整備事業実施の位置図

#### ① 大学・短期大学〔見和キャンパス〕

